授　　業

1．学年と学期

授業は一定の期間継続して行われますが、その期間に、学年と学期があります。

学年　　4 月 1 日から翌年 3 月 31 日

学年は、次の 2 学期に分けられます。

前学期・・・・・4 月 1 日から 9 月 15 日まで

後学期・・・・・9 月 16 日から 3 月 31 日まで

（ただし、必要に応じこの期間を変更する事がありますので、その年度の学事日程で確認してください。）

2．授業時間

授業時間は以下のように定められています。

	1 時限	休憩	2 時限	休憩	3 時限	休憩	4 時限	休憩	5 時限	休憩	夜 1 限
時間	9：30 ～ 11：00	10 分	11：10 ～ 12：40	50 分	13：30 ～ 15：00	10 分	15：10 ～ 16：40	10 分	16：50 ～ 18：20	10 分	18：30 ～ 20：00

※他キャンパスとの遠隔講義等においては、上記とは異なる時間帯で講義を行うことがあります。

※夜 1 限は補講時限として実施する場合があります。（学部の通常授業は原則実施しません。）

3．授業時間割

授業は、週単位で決められた**授業時間割**に従って行われます。

(1) 種類

授業時間割表には「共通教育・教職科目時間割」「学部共通科目時間割」「学系配当科目時間割」の 3 種類があります。

冊子体（紙）とホームページ上からダウンロード可能な excel 形式ファイルの 2 通りで配布します。

- **「共通教育・教職科目時間割表」**（全学系共通）
  人間形成科目群・英語科目群・教職課程科目群の科目が記載されています。
- **「学部共通科目時間割表」**（全学系共通）
  学部共通科目群の科目が記載されています。

•「学系配当科目時間割表」

学系共通科目群およびコース専門科目群の科目が記載されています。

(2) カリキュラム年度

カリキュラム年度とは、入学した年度に配当されるカリキュラムのことです。

2013 年度に 1 年次に入学した学生のカリキュラムは、2013 年度カリキュラムとなります。（卒業するまで同じカリキュラム年度になります。万一留年してもカリキュラム年度は変わりません）

時間割表では略して「‘13」と記載し、該当する学生の履修可能である科目を「●」印で表しています。

(3) 内容と注意

① 3 種類の時間割表をあわせて、その年度に履修できる全ての科目を網羅することになります。

②授業時間割表には、科目名・カリキュラム年度・担当教員名・教室番号が曜日・時限・配当期ごとに記載されています。

③科目名に学年・学系の記載がある科目については、その対象学生の履修が優先されますが、対象外の学生も人数に余裕がある場合は履修することができる場合があります。

④集中講義科目については時間割表の備考欄に記載してあります。

⑤カリキュラム年度は入学した年度です。カリキュラム年度により履修できる科目は異なります。

4．休　　講

以下の場合、休講となります。

(1) 学校行事を行う場合。（主要行事予定表・DENDAI － UNIPA により連絡します）

(2) 授業科目担当教員にやむを得ない理由が生じた場合。（DENDAI － UNIPA 等により連絡します）

(3) 休講のお知らせがなく、授業開始時間から 30 分を経過しても授業科目担当教員がやむを得ない理由で講義を開始できない場合。（自然休講と呼びます）
ただし、特別な指示により、それ以上経過しても授業を行う場合があります。

(4) 東武東上線の事故等の場合。（P 8 参照）

(5) 地震、台風、大雪などの自然災害により不測の事態が発生した場合。（P 8 参照）

5．補　　講

休講等で授業回数が不足した場合は、必要に応じて補講を行います。補講の有無は授業科目担当教員によって指示され、原則として**月～金曜日の夜 1 限**に行うことになっています。ただし、月～金曜日の 5 時限、または土曜日に、授業担当教員が通常授業および、大学・学

部行事に支障がないと判断した場合に限り補講を実施する場合があります。日程は、授業中又は DENDAI − UNIPA によりお知らせします。

6．授業の欠席

病気・ケガ等のやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、教務担当窓口で欠席届の用紙を受けとり、必要事項を記入の上、診断書等欠席を証明出来る物を添えて提出してください。ただし、公欠制度はありません。届出に対して大学（科目担当教員等）が判断を行ないます。

	欠席日数（連続した欠席日数）　※土日祝を含む	
	6 日以内	7 日以上
保証人記入欄の記入	不要	必要
提出先	各科目担当教員	教務担当窓口

7．提出物期限の厳守

履修登録・レポート・製図等の提出物には、必ず期限が定められています。期限を守らないと成績評価を受けられないことになりますので、期限・提出場所は厳守するように注意してください。

本館 1 階事務室内にある教務担当レポート BOX は、提出期限になったら撤去します。撤去後の扱いは行なっていません。

8．授業評価アンケートについて

目的：授業評価アンケートは、授業の充実度・専門性の向上など、より優れた授業の実現のために実施します。

種類：授業評価アンケートには大別すると 2 つの種類があります。一つは、理工学部の共通フォーマットにて行なわれるもの。また、もう一つは学系および共通教育群など独自のフォーマットにて行われるもの。どちらの場合においても、科目担当教員の指示により行なってください。

注意：授業評価アンケートは授業内容の向上につながるため、率直な意見を記載してください。ただし、一時的な感情やいい加減な考えではなく、授業での様子をできるだけ正しく伝えるようにしてください。

集計結果の閲覧：授業評価アンケートの集計結果については、Web（キャンパス内のみ）、事務室窓口等で閲覧出来ます。

9．その他授業について

(1) 授業等のガイダンス

授業科目のガイダンスは、初回の授業等に必要に応じて行われますので、必ず出席してください。特に、実験・演習・実技等については、グループ分け等の説明がある場合が多いので、出席しないと履修に支障が出る場合があります。

(2) テストによるクラス分け

「英語」「数学」「物理」「化学」の科目では、プレースメントテスト等によりクラス分けを行います。

(3) e-Campus 科目

東京電機大学の 4 学部（理工学部・工学部・情報環境学部・未来科学部）では、平成 18 年度より遠隔授業を行なっています。遠隔授業で行なう科目は別途 DENDAI － UNIPA で確認してください（開講しない場合もあります）。

＊1　他学部履修の扱いになる科目もあります。
＊2　授業時間は、別途 DENDAI － UNIPA で確認してください。なお、他キャンパスにて履修者がいない場合、授業時間等の変更がある場合もあります。
＊3　その他変更等のお知らせは DENDAI － UNIPA で行います。

履　　修

1．履修計画

以下の点を充分に考慮して履修計画を立ててください。

① 各学系・共通教育群のページにある「履修モデル」を参考にして、履修科目の見通しを立ててください。

② 授業科目配当表と学期始めに配布する授業時間割表を参考にし、シラバスを読んで、授業科目の内容をつかむようにしてください。

③ **必修科目の履修登録**を忘れないようにしてください。

④ 各学系で定められている、進級条件・卒業要件をクリアできるように充分に考慮し、余裕をもって履修してください。

⑤ 履修上限単位数（48単位／年）を超えないように注意してください。

⑥ 同時限に開講する科目を重複して履修することはできないので注意してください。

⑦ 履修できる科目は、各自のカリキュラム年度の科目のうち、所属する学年または、原則として下級年次に配当された授業科目だけです。

⑧ 理工学部以外（他学部、他大学、短期大学、大学以外の教育施設）の科目も一定の条件内で履修できます。なお修得した単位のうち、教授会が教育上有益と認めたものは、卒業要件に含めることができます。

2．履修登録

(1) 履修登録の意味

各自がどの授業に出席し、どの科目を修得しようとしているのかを大学へ届け出ることを履修登録といいます。（必修科目も履修登録する必要があります）

> 履修登録していない科目は、授業に出席することも、学期末試験を受験することもできません。

(2) 履修登録の期間

履修登録は、定められた期間に学生自身が行います。

(1) 履修登録期間（1年間分の履修登録）・・・・4月中旬頃

(2) 履修登録修正期間（1年間分の履修登録）・・4月下旬頃

(3) 履修登録修正期間（後期分の履修登録）・・・9月下旬頃

※詳細の日程等については、DENDAI − UNIPA によりお知らせします。

(3) 履修登録の方法

履修登録は、履修期間内に学生自身が DENDAI − UNIPA で入力します（一部 Web 以外での申請科目もあります）。

パソコンは学内設置のパソコン、教務担当窓口に置いてあるパソコン、その他の場所でもインターネット接続可能なパソコンから行う事ができます。

履修登録期間中であれば何回でも修正することができます（学内に設置してあるパソコンは使用できる時間が決まっています）。履修登録を行う際には、あらかじめ自分の履修したい科目を決定してからパソコンに向かい、すみやかに作業を終了するようにしてください。

また、**パソコンの操作ミスを含む入力ミスや、勘違い等による履修登録漏れがあった場合でも、履修登録期間及び履修登録修正期間以外では一切認められません**ので、履修登録の確認期間には各自で責任を持って確認してください。

なお、科目によっては**科目担当教員が履修制限する科目**があります。DENDAI − UNIPA や授業等で履修可能者やクラス分け結果をお知らせします。

履修登録結果は、後日、DENDAI − UNIPA で公開します。各自で必ず確認し、修正（追加及び取消等）の必要があるときは所定期間内に手続をしてください。

詳細は適宜 DENDAI − UNIPA で確認するようにしてください。

3．履修上限について

1年間に履修することができる単位数（履修上限単位数）は**48単位**と定められています。従って進級条件および卒業要件に注意しながら、しっかりと4年間の履修計画を立てることが必要となります。

なお、以下に該当する場合もしくは以下の科目については**履修上限48単位**の制限を受けません。

(1) 履修上限の制限を受けない場合

①成績優秀者に対して、学系の判断による場合（1・4 年次生は除く）

②進級・卒業に影響する場合

③その他の特別な場合で、学部長の判断により認める場合

なお、①②については、以下の基準を適用する。

※ ①成績優秀者に対して、学系の判断による場合

対象学生：全成績評価（自由科目および「R」評価は除く）の 85%以上がＳ又はＡ評価であり、かつＧＰＡが 3.4 以上の学生（1・4 年次生は除く）。

追加履修を認める単位数：教育的配慮の上、学系長の判断とする。

※ ②進級・卒業に影響する場合

対象学生：48 単位を履修し全てを修得したとしても進級・卒業条件を充足しない学生。

追加履修を認める単位数：進級・卒業条件に対し 48 単位を履修してもなお不足する単位数までとする。ただし、前期において上限を超えての履修を認めた学生が、前期末の成績において再び全ての科目を修得したとしても進級・卒業条件を充足しない場合は、後期初めにおいて再度進級・卒業条件に対し不足する単位数までについて認めることができる。

(2) 履修上限の制限を受けない科目

①自由科目

②海外英語研修・学外体育研修

③「インターンシップ」「海外事情」

4．重複履修の禁止

(1) 同一時限における重複履修の禁止

原則として同一の配当期・曜日・時限の科目を重複して履修することはできません。

(2) 同一科目の重複履修の禁止

同一科目が複数開講されていても、一科目のみしか履修することはできません。

（担当教員や開講学系が異なっていても履修することはできません）

5．上級年次科目の履修について

上級年次に配当されている科目は通常履修できないことになっていますが、下記の場合については履修が可能となります。（履修上限単位に含まれます）

上級年次科目の成績評価は、正規履修科目と同様に、成績表に表記されます。

【上級年次科目の履修】

1）　成績優秀者において、上級年次配当の科目を履修する場合は、学生の所属する学系の承認の他、定められた手続きを行い、学部長の決済を得る。

2）　各学系の別途定める基準を満たしていること。

全成績評価の 85％以上がＳまたはＡ評価であり、（自由科目および「Ｒ」評価は除く）かつ、ＧＰＡが 3.4 以上の学生。

6．他学系・他コース科目の履修

自分が所属していない学系の学系共通科目（副コースを他学系から選択した場合の副コース学系共通科目を除く）、および選択していないコースのコース専門科目を履修することを他学系・他コース科目履修といいます。

他学系・他コース科目履修は、①選択した主・副コースの学系が同じ場合と、②主・副コースの学系が違う場合で、対象となる科目の範囲が異なります。

他学系・他コース科目履修の科目範囲

①主・副コースが同じ学系の場合

・他学系の科目

・所属学系配当科目のうち、選択していないコースのコース専門科目

②主・副コースが違う学系の場合

・主・副コース以外の学系の科目

・所属学系配当科目のうち、選択していないコースのコース専門科目

・副コース学系の選択していないコースのコース専門科目

他学系・他コース科目履修による単位算入区分は、「自主選択科目」となります。

7．他学部科目の履修

未来科学部・工学部・工学部第二部・情報環境学部科目の履修を希望する学生は、本人の所属する学系長、または専任教員の承認を得た上で、授業担当教員の承認を得れば履修することが出来ます。

8．他大学科目の履修

(1) 東京理工系 4 大学による学術と教育の交流に関する協定に基づく単位互換について

東京電機大学・工学院大学・芝浦工業大学・東京都市大学の 4 大学間において、単位互換の協定を締結しています。これにより希望者は特別科目等履修生として、上記の本学を除く他の 3 大学の科目を履修することが出来ます。

(2) 東洋大学との単位互換について

本学部は東洋大学と単位互換の協定を締結しています。これにより希望者は特別科目等履修生として、東洋大学の科目を履修することが出来ます。

(3) 彩の国大学コンソーシアムについて

本学部では、埼玉県に所在する下記 18 大学と「彩の国大学コンソーシアム」という協定を結んでおり、その中で以下の 9 大学と単位互換協定を行っています。

跡見学園女子大学、十文字学園女子大学、城西大学、尚美学園大学、駿河台大学、西武文理大学、大東文化大学、東京家政大学、文京学院大学

(4) 山村学園短期大学との単位互換協定に基づく授業科目履修の扱い

本学部では山村学園短期大学との間に単位互換協定を結んでいます。本協定により、希望者は特別科目等履修生として、山村学園短期大学の科目を履修することができます。

9．他学部・他大学科目の履修手続

他学部・他大学科目履修を希望する学生は、所属する学系長または専任教員の承認を得た上で、授業担当教員の承認を得ることが必要です。

これらの履修を行う際に許可をもらう人、および履修費については、以下の表を確認してください。

	許可をもらう人	履　修　費
東京理工系 4 大学	所属する学系長	無　料
東洋大学	所属する学系長	無　料
彩の国大学 コンソーシアム	所属する学系長	1 大学 2,000 円
山村学園短期大学	所属する学系長	1 単位 500 円
他学部科目	所属する学系長または専任教員、科目担当教員	無　料

また、履修するにあたっては以下の点に注意してください。

① 理工学部配当表の科目と内容が重複する科目は認められません。（特に修得済みの科目や履修中の科目と内容の重複する科目は認められません）

② 自分の所属する学年または原則として下級年次配当の科目でなければなりません。

③ 他の履修科目と時限が重複しないように気をつけてください。特に他大学、他学部の科目を履修する場合は、移動時間を含め、本学部の授業と重複しないように注意してください。（試験の日程が重なった場合も特に便宜はありません）

④ 履修上限単位数に含まれます。

⑤ 通学定期券の発行はできません。

他大学・他学部・他学系で修得した単位について

卒業所要単位として算入できる単位数は、編入学・転入学をのぞき、他大学・他学部・他学系等において修得した単位と、入学前の既修得単位等を合せて 60 単位を超えることは出来ない。

10. その他履修について

(1) 履修人数の制限

履修登録は DENDAI − UNIPA 等で受け付けますが、科目によっては履修登録を受け付けた結果 1 つの時限に履修者が集中し、その履修人数が教室等の関係で一定人数を超えた場合に限り、履修人数の制限をかける場合があります。

履修人数は抽選または科目担当教員の判断により制限をかけ、それらの結果によっては、希望する科目を履修できない場合があります。

履修登録に関する詳細や履修登録期間・具体的な履修登録方法等は DENDAI − UNIPA によりお知らせします。

(2) 科目名の最後についているⅠ・Ⅱ、A・Bについて

Ⅰ・Ⅱというのは、Ⅰを履修してからⅡを学ぶことを原則としている科目です。

A・Bというのは、Aを履修してからBを学ぶほうが望ましいという科目です。

いずれも半期制の科目ではありますが、通年科目のつもりで履修計画を立ててください。

(3) 卒業研究の履修登録について

卒業研究は自分の所属する学系（主コース）で履修登録をしてください（必修科目です）。

(4) 体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

この科目は、授業時間割表の表記と履修登録システムの表記が異なっています。

授業時間割表の表記は「体育（種目名）」として記載され、DENDAI − UNIPA の履修登録システムの表記は「体育Ⅰ～Ⅵ」となっています。

履修登録の際には自分の履修したい教員名で選択し、体育ⅠからⅥの順番になるように履修登録を行ってください。

(5) 履修登録をしなくても良い科目

・海外英語研修

・学外体育研修

・インターンシップ

・海外事情

これらの科目は、参加の申し込みを行った後、参加が許可されることにより履修登録した事になります。（参加が許可されない場合もあります）

なお、実施の時期により**年度内に成績（単位）がつかない**場合がありますので、年度末に実施される研修については必ず事前に確認してください。

(6) インターンシップ科目

インターンシップは、履修及び履修登録の取り扱いが他の科目と以下の点において異なりますので注意してください。

ア　インターンシップについて

インターンシップとは、一般的には、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことであり、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」としてとらえられています。（労働報酬はありません）

本学部でのインターンシップに関する科目は、全学系に開講され、講義科目の「情報と職業入門」及び実習科目の「インターンシップ」にて構成されています。

実習科目の「インターンシップ」を履修する学生は、その前提科目として「情報と職業入門」の単位を修得しなくてはなりません。

イ　履修の取り扱い

インターンシップは科目配当表に記載されている複数の「インターンシップ」のうち、在籍学年に配当されている科目のみが履修可能であり、下級年次科目としての履修や再履修はできませんので、授業科目配当表を確認の上注意してください。

ウ　インターンシップ科目の運用

インターンシップ科目の運用は以下のようになります。

・履修の希望を学系へ申し出て企業を決定します。

・１企業あたりの派遣学生数は企業毎に異なります。

・研修期間は合計２週間程度。

・研修形態は学系と打ち合せ、決定します。

・**履修登録の手続きは不要**です。

・履修上限単位数には含まれません。

・**研修前には必ず「情報と職業入門」の単位を修得**し、事前指導を受けてください。

・評価は学期末もしくは、翌年度となります。

エ　履修の形態

インターンシップは、全学系に配当されていますが、科目名は履修した時の在籍学年・配当期によって次の通りになります。（学系により科目名は異なります）

2 年次前期：インターンシップＡ　　後期：インターンシップＢ

3 年次前期：インターンシップＣ　　後期：インターンシップＤ

4 年次前期：インターンシップＥ　　後期：インターンシップＦ

(7) 海外研修における振替について

理工学部において各種海外研修に参加した学生は、以下のような科目に振替られます。海外研修の実施については掲示または、学生厚生担当に確認してください。（実施されない場合もあります）

ア　海外研修の研修校及び実施時期について

・フランス国立高等精密機械大学院大学（フランス）

実施時期：2 月～ 3 月（2 週間）

最終実施年度：平成 14 年度

・上海交通大学（中国）・西安交通大学（中国）

実施時期：8 月～ 9 月（2 週間）

最終実施年度：平成 10 年度

※実施時期についての詳細及び申込みについては、掲示または、学生厚生担当にお問合せください。

イ　振替科目について

人間形成科目群の「海外事情」に振替となります。

（在学期間中にこの振替えができるのは 1 回のみとなります）

ウ　履修について

海外研修の参加申込をすることにより履修となります。

また、この履修は履修上限には含まれません。

（8）重複履修特定科目について

特定科目とは、**再履修者**に対しその科目担当教員が、授業時間外に指導すること等を条件に、重複履修を許可する科目のことをいいます。該当科目がある場合は、DENDAI－UNIPA でお知らせします。

（9）単位修得している科目は再履修することはできません。

(10) 同一の科目名の科目は、学部・学科・学系で配当の所属が異なっていても、1 科目のみしか、履修および単位修得することはできません。

再　履　修

1. 再履修

履修した授業科目の単位が修得できなかったときに、再度その科目を履修からやり直すことを、**再履修**といいます。（単位修得済みの科目を再履修することはできません）

2. 再履修上の注意

（1）必修科目の単位を修得できなかったときは、必ず再履修しなければなりません。

（2）選択科目の単位を修得できなかったときに、再履修するかしないかは、各自の意思にまかせられますが、その際、進級条件、卒業条件等に充分注意してください。

（3）再履修科目名等科目配当条件に変更があった場合は、年度始めのガイダンスや時間割表等を参考にして、単位未修得科目に対応する授業科目を確認した上で、誤りのないように再履修してください。

（4）再履修科目の担当教員が前年度と変更になった場合は、再履修年度の担当教員のもとで再履修しなければなりません。

（5）授業時間割は前年と同時限に配置されるとは限りません。

（6）再履修科目の履修登録・受講・試験等については、新規での履修の場合と同様です。

試　　験

授業科目の単位認定の方法として、試験が行われます。試験には、学期末試験・中間試験・追試験等があります。いずれの試験も**受験する際には必ず学生証を携帯してください。**

なお、試験は筆記のほかに、レポート提出・口頭試問などの方法により行われることもあります。

1．学期末試験

学期末試験は、原則として授業時間中に行われ、一部の科目については学期末の学部が定める期間（特定日）に行われます。（科目によっては、小テスト、レポートなどの内容により採点する為、行わない場合もあります。）

(1) 学期末試験の受験資格

学期末試験受験のためには、以下の条件を備えていることが必要となります。

① 履修登録をした授業科目であること。

② その学期までの学費を納入していること。

③ 休学期間中ではないこと。

(2) 学期末試験受験上の注意

学期末試験の受験に際しては、以下のような注意が必要です。授業中に実施する場合や学部の指定する期間に実施する場合にかかわらず熟読し、よく理解しておいてください。

ア　試験時間割等の確認

試験日・試験時間割・試験教室・座席表など試験に関する情報は、試験開始日のおおむね１週間前に DENDAI － UNIPA にて公開されます。試験教室が通常の授業の教室と変更となる場合等がありますので、よく確認してください。

イ　試験教室・座席の指定

試験教室・座席は、学籍番号により以下の３種類の指定があります。DENDAI － UNIPA で確認してください。

・授業着席（隣席との間を空けずに着席します）

・試験着席（原則として隣席との間を１席分空けて着席します。）

・教員にて指示（科目担当教員により事前に掲示等での指示、また当日口頭での指示等があります）

ウ　遅刻・退出について

遅刻－試験開始後 30 分を経過すると入室は認められません。

退出－試験開始後 40 分を経過しないと退出は許可されません。（ただし、終了 10 分前まで）

なお、事情により、上記に拠らない場合がありますので、試験監督者の指示に従ってください。

エ　学生証について

学生証は常に携帯し、試験（学期末試験・中間試験・追試験等）のときには常に机の上に出しておかなければなりません。また監督者からの要求があったときには、必ず提示しなければなりません。

学生証を持参していない学生は、いかなる理由があっても受験できません。

注）学生証を忘れた者は、証明書自動発行機で仮受験票を発行してください。ただし仮受験票発行には 1,000 円の手数料がかかります。当日 6 時限分の仮受験票が紙で出力されますので、該当の時限分を切り取って使用してください。なお、仮受験票は当日のみ有効ですので、受験しない時限分の仮受験票は各自で処分してください。

オ　試験場での心得

試験期間中は試験監督者が一切の権限を持ちます。試験監督者の指示に従わない者や、態度不良の者は退室を命ぜられることがあります。

また、携帯電話等の持ち込み（時計としての使用も不可）は禁止しています。

カ　棄権

試験を棄権する場合でも、答案用紙に必ず、学年・学系・学籍番号・氏名を記入し提出しなければなりません。

キ　不正行為

カンニングなど不正行為をした者は、退室を命じられたうえ、原則として**その学期末試験の全部の試験が無効**となります。

2．追試験

(1) 追試験の受験資格

以下に示す真にやむを得ない理由により学期末試験を受験できなかった場合、追試験を受験することができます。

① 病気で受験できなかった場合

② 親族の死亡などで受験できなかった場合

③ 交通機関の運休・遅延などで受験できなかった場合

④ 火災・台風災害などに罹災した場合

⑤ 上記と同程度と認められる本人の責任でないやむを得ない理由がある場合

※追試験の実施方法は科目担当教員の判断によります。

(2) 手続き

追試験を希望する学生は、追試験願に医師の診断書等の**欠席理由を証明する書面等**を添えて、当該科目の試験終了時から試験期間終了後 2 日後までに、教務担当へ提出してください。追試験は、追試験願受付期限終了後の 2 日後から実施されます。

（追試験手数料は、 1 科目につき 500 円です。）

3．中間試験等

学期末試験以外の通常の授業中に行う小テストや学期の途中で行われる中間試験は、授業科目担当教員が実施日・方法などを決定し、授業中または DENDAI － UNIPA により伝達します。

成　　績

1．単位と成績評価

試験の結果は科目担当教員が採点し、１点きざみの**評点**が与えられます。60 点以上の評点が与えられたとき、その授業科目は合格とされ、その授業科目について定められた単位数が与えられます。これを**単位修得**といいます。

単位修得した授業科目は、たとえ評価が不本意なものであっても再履修はできません。

評点に対し、**S・A・B・C・D・ー**の評価が与えられ、本人が確認する成績通知書にはこの評価と評点が記載されます。**なお成績証明書には、評価のみ記載となり、D・ーの評価の科目は記載されません。**

成績 (評点・評価)

評点と評価の関係は、次の通りです。

評　点	成　績　評　価		判　定
	成績通知書	成績証明書	
90 ～ 100 点	S	S	合　格 （単位修得）
80 ～　89 点	A	A	
70 ～　79 点	B	B	
60 ～　69 点	C	C	
認定された科目	R	R	
0 ～　59 点	D	記載されません	不合格
放　棄	ー		

ー　放　棄（履修した授業科目を受験しなかったとき等）

＊　履修中（履修した授業科目にまだ評点が入らないとき）

注（1）単位認定の時期は、その授業科目の履修が終わる配当期の終了時点（前期末・後期末）です。これは再履修の場合も同じで、これ以外の時期に単位認定が行なわれることはありません。
注（2）配当期が変更された科目を再履修した場合の単位の認定の時期は、原則として現に受講している科目の配当期末とします。

2．成績の通知

成績の通知は指定日に DENDAI － UNIPA で行います。

成績通知の時期は次の通りです。

（1）前期・前前期・前後期・前期集中科目……後期授業開始後

（2）後期・後前期・後後期・後期集中・通年・通年集中科目

……3 月初旬の卒業・進級判定発表日

成績の通知後、担当教員から採点の訂正がおこなわれた場合でも、原則としてその都度の訂正および発表は行われず、次学期の成績に反映されます。

3．GPA（Grade Point Average）について

本学部では、成績の総合評価の指標として GPA を採用しています。

GPA とは、科目を履修して最終的に与えられた S・A・B・C・D・－の評価（Grade）に 4 ～ 0 のポイント（Point）を配当しそれに単位数を掛け、修得したポイントの合計と単位数をもとに算出する平均値（Average）です。

そのポイントと計算式は以下のようで、GPA の最高値は“4”となり、最高値に近いほど評価が高くなります。

【ポイント】

評　点 （100 点法）	成績評価	GP （グレードポイント）	合　否
90 ～ 100	S	4	合　格
80 ～ 89	A	3	
70 ～ 79	B	2	
60 ～ 69	C	1	
0 ～ 59	D	0	不合格
放　棄	ー	0	

【計算式】

$$\text{GPA} = \frac{\text{（各科目の単位数 × その科目で得たＧＰ（グレードポイント））の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数の合計}}$$

※　GPA の値は、小数点第 4 位を四捨五入して、小数点第 3 位まで表示します。

※　分母の「履修登録した科目の単位数の合計」には、履修中の科目は含まれません。

※　卒業要件とならない科目（教職に関する科目・自由科目）は含まれません。

※　対象科目は履修し評価を受けた科目となるので、資格等で認定された単位（**R 評価**）は含まれません。

【用　途】

※　成績証明書等に記載します。

※　学部内における判定等（3 年次在学における卒業・履修上限を超えての履修・その他）に使用します。

単　位　認　定

1．入学前に修得した単位の認定

(1) 編入学（転入学・再入学・転学系・転学部含む）の場合

編入学前に、大学、短期大学、高等専門学校の専攻科で修得した成績のうち、教授会が教育上有益であると認めたものは、本学で修得したものとして単位認定することができます（高等専門学校での科目は、原則として 4 ・ 5 年次の科目に限ります）。

編入学の単位認定方法は**“科目対応認定”**で行います。修得している科目を本学部もしくは所属学系に対応する科目に振り替える方法です。卒業要件、進級条件は正規入学の学生と同じになります。

2・3 年次への編入学の単位認定は必要に応じて**“包括単位認定”**を行うことがあります。認定単位数合計は原則として 2 年次編入学者に対しては 36 単位以上、3 年次編入学者に対しては 68 単位以上を目安としています。

なお、単位認定を行うことにより、進級・卒業条件が他の学生とは異なる場合がありますので注意してください。

詳しくは、教務担当窓口にて確認してください。

(2) 新入学者の場合

入学前に、大学、短期大学で修得した科目・単位のうち、本学部の科目・単位に相当するものを、教授会が教育上有益と認めた場合には本学で修得したものとして単位認定することができます。

この場合の単位認定については入学後、他学系、他学部、他大学等で修得した単位を合わせて最高 60 単位までです。

(3) 申請方法

認定希望者は、教務担当窓口にある「単位認定申請書」に、入学前の最終成績証明書及び講義要目（シラバス）を添付して、**4 月上旬**に教務担当へ提出してください（詳細は教務担当窓口または DENDAI － UNIPA で確認してください）。

申請を受けてから単位認定作業を行い（必要に応じて面談等を行う場合があります）、一ヶ月程で申請結果をお知らせします。

2．本学部の指定する資格による単位認定

次頁に記載されている資格を取得している学生は、申請により本学の科目として単位認定を受けることができます。資格による科目の単位認定を希望する者は、教務担当へ申し出てください。

なお、この単位認定の注意事項は以下のとおりです。

①資格による単位認定の際は、該当科目を履修登録する必要はありません。

②該当科目を履修中の場合は履修を取り消します。

③既に単位修得済みの科目については単位認定することが出来ません。

④履修上限単位数には加算されません。

⑤該当科目が現学年より上級年次の配当であっても、成績表には表記され、進級・卒業条件にも加算することができます。

⑥同一の資格が共通教育と学系の双方にある場合は、希望によりどちらか一方を認定します。

⑦学系科目の対応については、所属学系の科目のみとし、他の学系の科目は認定しません。

⑧成績評価は「R」となり、ＧＰＡには反映されません。

⑨申請し認定された科目の成績評価「R」を取り消すことはできません。

⑩ＴＯＥＩＣのＩＰテストの取扱いについては、学内での実施に限り申請可能とします。

⑪申請してから成績表に表記されるまでの日程については下記を参考にしてください。

- **1月～6月に申請**の場合は**前期**成績表に表記
- **7月～12月に申請**の場合は**後期**成績表に表記

※資格による単位認定により所要単位数が充足され進級・卒業が可能となる場合もあるので、申請は余裕をもって行ってください。

資格と単位認定科目

	資格名称	科目名	学年	単位数
共通教育	実用英語技能検定（2 級）または ＴＯＥＩＣ 510 点以上	英語ⅠＡ	1	1
		英語ⅡＡ	1	1
		英語ⅠＢ	1	1
		英語ⅡＢ	1	1
	実用英語技能検定（準 1 級）または ＴＯＥＩＣ 730 点以上	英語ⅠＡ	1	1
		英語ⅡＡ	1	1
		英語ⅠＢ	1	1
		英語ⅡＢ	1	1
		英語ⅢＡ	2	1
		英語ⅣＡ	2	1
	実用英語技能検定（1 級）または ＴＯＥＩＣ 850 点以上	英語ⅠＡ	1	1
		英語ⅡＡ	1	1
		英語ⅠＢ	1	1
		英語ⅡＢ	1	1
		英語ⅢＡ	2	1
		英語ⅣＡ	2	1
		英語ⅢＢ	2	1
		英語ⅣＢ	2	1
	ドイツ語技能検定（4 級）	ドイツ語入門Ⅰ	全	1
		ドイツ語入門Ⅱ	全	1
	ドイツ語技能検定（3 級）	ドイツ語入門Ⅰ	全	1
		ドイツ語入門Ⅱ	全	1
		基礎ドイツ語Ⅰ	全	1
		基礎ドイツ語Ⅱ	全	1
		初級ドイツ語Ⅰ	全	1
		初級ドイツ語Ⅱ	全	1
	実用フランス語技能検定（4 級）	フランス語入門Ⅰ	全	1
		フランス語入門Ⅱ	全	1
	実用フランス語技能検定（3 級）	フランス語入門Ⅰ	全	1
		フランス語入門Ⅱ	全	1
		基礎フランス語Ⅰ	全	1
		基礎フランス語Ⅱ	全	1
		初級フランス語Ⅰ	全	1
		初級フランス語Ⅱ	全	1
	ＩＴパスポート （旧名：初級システムアドミニストレータ）	情報処理Ａ	1	2
	基本情報技術者 （旧名：第 2 種情報処理技術者）	情報処理Ａ	1	2
		情報処理Ｂ	1	2
	応用情報技術者 （旧名：ソフトウェア開発技術者） （旧名：第 1 種情報処理技術者）	情報処理Ａ	1	2
		情報処理Ｂ	1	2

	資格名称	科目名	学年	単位数
理学系	基本情報技術者 （旧名：第２種情報処理技術者）	数理プログラミングⅠ	1	2
	応用情報技術者 （旧名：ソフトウェア開発技術者） （旧名：第１種情報処理技術者）	数理プログラミングⅠ	1	2
		数理プログラミングⅡ	2	2
生命理工学系	―	―	―	―
情報システムデザイン学系	応用情報技術者 （旧名：ソフトウェア開発技術者） （旧名：第１種情報処理技術者）	基本情報処理技術	2	2
	基本情報技術者 （旧名：第２種情報処理技術者）	基本情報処理技術	2	2
	ＣＧエンジニア検定　エキスパート （旧２級）	コンピュータグラフィックスⅠ	2	2
		コンピュータグラフィックスⅡ	2	2
	ＣＧエンジニア検定　ベーシック （旧３級）	コンピュータグラフィックスⅠ	2	2
	カラーコーディネーター検定２級	色彩論	2	2
	色彩検定２級	色彩論	2	2
電子・機械工学系	電気主任技術者（第１・２・３種）	電気回路Ⅱ・同演習	1	3
	基本情報技術者 （旧名：第２種情報処理技術者）	コンピュータ工学Ⅰ	2	2
	応用情報技術者 （旧名：ソフトウェア開発技術者） （旧名：第１種情報処理技術者）	コンピュータ工学Ⅰ	2	2
		コンピュータ工学Ⅱ	2	2
建築・都市環境学系	ＣＡＤ利用技術者試験１級	建築都市デザイン演習Ⅰ	1	3
	測量士	測量学・演習	2	3
		測量実習	2	2
	測量士補	測量実習	2	2
	基本情報技術者 （旧名：第２種情報処理技術者）	プログラミング演習	2	2

TOEIC の IP テストでは公開テストで発行される Official Score Certificate（公式認定証）は発行されず、スコアレポート・スコアシートでの結果報告となるため、IP テストは学内での実施に限り認定します。

進級と留年

1．進　級

(1) 進級制度

理工系の大学では、学問の性質上、基礎から応用へと積み重ねて勉学していくことが不可欠です。

そこで、本学部では、学問の基礎から応用へと順序立てて学修できるように、それに適した授業科目を各学年に配当し、その学年ごとに履修を指定しています。

したがって、下級学年次に不合格科目が多い状態で上級学年次に進むと、基礎学力が不足しているにもかかわらず上級学年次配当の専門的授業科目を履修しなければならないことになり、教育的に好ましくない状況をもたらします。

このような事態を避けるため、本学部においては、低学年次配当授業科目の単位修得状況を考慮し、上級学年次へ**進級**するための条件を定め、この条件を充たさないときは、もとの学年次に**留年**するという**進級制度**をとっています。

(2) 進級条件

上級学年次に進級するための条件を**進級条件**といいます。

理工学部においては、以下の学年に進級条件を設けています。

1 年次から 2 年次：30 単位以上修得のこと

2 年次から 3 年次：なし

3 年次から 4 年次：下記の条件および合計で 104 単位以上修得のこと

※　進級条件の単位数には自由科目の単位は含まれません。

科　目　区　分			単位数（括弧内は卒業条件）
人間形成科目			12（16）
英語科目			6（ 8）
学部共通科目			12（14）
主コースと副コースが同一の学系	学系共通科目		28（36）
	主コース専門科目		14（22）※
	副コース専門科目		6（ 8）
主コースの学系と副コースの学系が異なる場合	学系共通科目	主コース	22（26）
		副コース	10（14）
	コース専門	主コース	14（22）※
		副コース	2（ 4）

※は、卒業研究を含む

進級条件は、学系、学年ごとに異なるので、各学系のページを熟読してください。

(3) 2・3年次への編入学者の進級条件

2・3年次への編入学者については入学時に修得している成績の単位認定をおこないますので、各学系に表示してある条件とは異なる場合があります。不明な点については教務担当窓口で確認してください。

2．留　年

留年した場合の注意点

留年したときには、次のような点に注意してください。

① 留年した場合であっても、入学した年度のカリキュラムが適用されます。また、進級・卒業判定基準も、入学した年度の基準が適用されます。（留年による変更はありません）

② 学生要覧は現在使用しているものを卒業まで使用します。

③ 同一学年に通算して4年の在学をこえてなお進級・卒業できないときは、**除籍**となります。

④ 4年次生が卒業要件を充足することができずに留年した場合は、次年度の前期に卒業要件を充足することができれば前期末に卒業することができます。

前期末に卒業を希望する学生は、前期の成績が発表されたら、指定の期日までに学系長へ申し出てください。（事前に前期末での卒業の意志を学系長に伝えておくことが望ましい）申し出を受けて、卒業の手続きを行いますので、申し出がない場合は卒業要件を充足していても、学年末での卒業となります。（学年末でも卒業要件を充足する必要があります）

（注）留年（休学による留年も含む）した場合の学費は、当該学年の正規学年次生の学費を納めなければならないので注意すること。

卒　業　要　件

1．卒業するための必要要件は、次のとおりです。

（1）卒業するために必要な単位数（卒業所要単位数）を修得していること。

（2）自己の所属する学系に配当されている必修科目の単位を全て修得していること。

（3）各学年次に 1 年、合計 4 年以上（8 年以内、但し休学時は異なる）在学していること。

（4）卒業までに必要な学費およびその他の費用の全額を納入していること。

（5）卒業判定時に休学していないこと。

※卒業所要単位数には自由科目の単位は含まれません。

●理工学部においては、次により 124 単位以上を履修し、修得しなければならない。

区分		単位数
共通教育科目	人間形成科目群	16 単位
	英語科目群	8 単位　※ 1
専門教育科目	学部共通科目群	14 単位
	学系共通科目群	66 単位　※ 2
	コース専門科目群	
自主選択科目		20 単位
合計		124 単位

※ 1　1 年次および 2 年次配当の英語科目は「必修科目」です。

※ 2　学系共通科目群及びコース専門科目群における「66 単位」の内訳は以下のとおり。

主コース・副コース履修形態	コース	学系共通科目群	コース科目群		合計
			コース専門	卒業研究Ⅰ・Ⅱ	
同じ学系で主・副をとる場合	主コース	36 単位	16 単位	6 単位	66 単位
	副コース		8 単位		
異なった学系で主・副をとる場合	主コース	26 単位	16 単位	6 単位	66 単位
	副コース	14 単位	4 単位		

☆　必修科目の単位の全部を履修し、修得しなければならない。

☆　自主選択科目については、任意に選択し（自由科目を除く）、修得した科目とする。

2．卒業するための最低修得単位数

(1) 共通教育科目

ア　人間形成科目群

人間形成科目（新人教育科目・概論科目・主題科目・教養ゼミ・第二外国語・保健体育）の中から最低 16 単位以上修得しなければなりません。

なお、留学生については「留学生科目」を履修し単位修得すれば、人間形成科目群の単位として算入することができます。

イ　英語科目群

英語科目から最低 8 単位以上修得しなければなりません。

(2) 専門教育科目

ア　学部共通科目群

学部共通科目群（基礎・数学・物理学・化学・生物・地学・情報・工学・キャリア開発）から最低 14 単位以上修得しなければなりません。

イ　学系共通科目群・コース専門科目群

所属する学系および選択する主・副コースに関連した「学系共通科目」および「コース専門科目」から必修科目の単位数を含めて、最低 66 単位以上修得しなければなりません。なお前頁の表にも記載されているとおり、66 単位の内訳は、主・副コースの履修形態により異なりますので、注意してください。

ウ　自主選択科目

卒業するまでに最低 20 単位以上を修得しなければなりません。「自主選択単位」を修得するには、特別な授業科目を履修するのではなく、前述の (1)ア～ (2)イのそれぞれの最低修得単位を超えた単位数が自動的にこの自主選択単位となります。したがって「自主選択単位」として履修できるのは、必修科目と自由科目を除く全ての選択科目です。

卒業するための最低修得単位数を簡単に式にすると次のようになります。

人間形成科目群		英語科目群		学部共通科目群		学系共通科目群 コース専門科目群		
16 単位	＋	8 単位	＋	14 単位	＋	66 単位	＝	104 単位

卒業所要単位数			自主選択単位
124 単位	－	104 単位	＝ 20 単位

履修計画をたてる際には、各学系・群から示されている「履修モデル」と進級基準を念頭

におき、それぞれの科目群に定められた最低修得単位数のみならず、自主選択単位数も余裕をもって修得できるよう十分注意してください。

3．　3 年以上の在学での卒業について（3 年卒業、3.5 年卒業）

本学の学生として 3 年以上在学した者で、本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる場合は、以下の条件により 4 年間をかけなくても卒業することができます。

条件は以下のようになります。

(1) 3 年以上の在学での卒業における基準

①　所属学系の指導する早期卒業についての履修計画に従っていること。

②　在学期間が 3 年以上の学生であること。

③　3 年次以上までに卒業要件の全てを満たしていること（卒業研究は除く）。

④　3 年次から 4 年次への進級条件を充足していること。

⑤　原則として全成績評価の 85％以上（小数点第 1 位を切り捨て）がＳまたはＡ評価であり、（自由科目および「Ｒ」評価は除く）かつ、ＧＰＡが 3.4 以上であること。

⑥　学系長および学部長の了解が得られていること。

⑦　卒業時に大学院進学、公務員等の進路が確定していること。

⑧　3 年次以上の在学での卒業までに必要な学費が全て納入されていること。

⑨　早期卒業判定時に休学していないこと。

※ 3 年次編入学者の早期卒業は認めない。

(2) 3 年以上の在学での卒業研究について

3 年次以上の在学での卒業を望む学生に対し、所属学系の判断により以下の①～④のうちいずれかを適用し実施する。

①　修業年限を 3 年とする。（卒業研究の履修はなし。）

②　修業年限を 3 年とする。（3 年次後期に特別卒業研究を履修する。）

③　修業年限を 3.5 年とする。4 年次前期に卒業研究Ｉを履修し、4 年次前期を終えた時点で学期末卒業となる。

④　修業年限を 3.5 年とする。3 年次後期に特別卒業研究を、4 年次前期に卒業研究Ｉを履修し、4 年次前期を終えた時点で学期末卒業となる。

※詳細については教務担当に確認してください。

(3) 3年以上在学での卒業申請方法

成績発表日に成績を確認し「3年以上在学での卒業における基準」を充足した場合は、指定の期日までに学系長へ申し出てください。

4．卒業延期者の前期末での卒業申請について

4年次生が卒業要件を充足することができずに留年した場合は、次年度の前期に卒業要件を充足することができれば前期末に卒業することができます。

前期末に卒業を希望する学生は、前期の成績が発表されたら、指定の期日までに学系長へ申し出てください。（事前に前期末での卒業の意志を学系長に伝えておくことが望ましい）申し出を受けて、卒業の手続きを行いますので、申し出がない場合は卒業要件を充足していても、学年末での卒業となります。（学年末でも卒業要件を充足する必要があります）

5．卒業の時期

- 卒業の時期は学年末で、卒業式は毎年3月の下旬に挙行されます。
- 3.5年での卒業の場合は9月15日付で卒業となり、卒業式については別途連絡いたします。
- 卒業延期者の前期末での卒業の場合は9月15日付で卒業となり、卒業式については別途連絡いたします。

6．学位の授与

理工学部を卒業した者には、次の学位が授与されます。

理学系	学士（理学）……Bachelor of Science
生命理工学系	学士（工学）……Bachelor of Engineering
情報システムデザイン学系	学士（情報学）…Bachelor of Information
電子・機械工学系	学士（工学）……Bachelor of Engineering
建築・都市環境学系	学士（工学）……Bachelor of Engineering

学位は卒業式の時に授与される学位記により証明されます。

留学生のための共通教育科目

本学で学ぶ留学生の皆さんのために、新たに「留学生のための共通教育科目」を 2011 年度から開設しています。

日本語科目：日本語で聞き、話し、読み、書けるようになることは、留学生の皆さんにとって、必須です。皆さんの日本語能力向上のために、日本語科目を 8 科目用意してあります。そのうち、6 科目が日本語中級、2 科目が日本語上級です。単位は、英語と同様、各科目 1 単位です。なお、この単位は、人間形成科目群の単位として扱われます。

中級は終えたと考える諸君でも、単位取得のためだけでなく、日本語中級科目に挑戦することをすすめます。日本語上級科目は 2 年生前期と後期に、それぞれひとつずつ用意しました。この 2 つの科目を取って、日本語能力を向上させることは、皆さんの留学生活にとって、欠かせません。

日本事情科目：留学生活をする上で、専門の学習とは別に、日本の社会、地理、文化、歴史などを理解することは必要です。皆さんに日本について学んでいただくために、 1 年生後期から 3 年生前期まで、各学期ひとつずつ、4 つの科目を用意してあります。

皆さんも、人間形成科目群から 16 単位を履修しなければなりませんが、この日本事情科目は、この科目群の中に入っており、4 科目を履修すれば、8 単位になります。

1 年次
前期：日本語中級ＡⅠ、ＢⅠ、ＣⅠ
後期：日本語中級ＡⅡ、ＢⅡ、ＣⅡ、日本事情Ⅰ

2 年次
前期：日本語上級Ⅰ、日本事情Ⅱ
後期：日本語上級Ⅱ、日本事情Ⅲ

3 年次
前期：日本事情Ⅳ

☆　留学生のための共通教育科目を履修出来るのは、留学生に限られます。

2013年度 カリキュラム　人間形成・英語

人間形成科目・英語科目 授業科目配当表

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
共通教育科目	人間形成科目	新人教育科目	東京電機大学で学ぶ	選択	1	1	1	1				
			フレッシュマンゼミA	選択	1	1	1					
			フレッシュマンゼミB	選択	1	1		1				
			日本語リテラシーA	選択	1	全	1/4期1コマ				（小論文）	
			日本語リテラシーB	選択	1	全	1/4期1コマ				（就職対策）	
		概論科目	哲学A	選択	2	全	1	1				
			哲学B	選択	2	全			1	1		
			倫理学A	選択	2	全	1	1				
			倫理学B	選択	2	全			1	1		
			心理学A	選択	2	全	1	1				
			心理学B	選択	2	全			1	1		
			歴史学A	選択	2	全	1	1				
			歴史学B	選択	2	全			1	1		
			文学A	選択	2	全	1	1				
			文学B	選択	2	全			1	1		
			法学A	選択	2	全	1	1				
			法学B	選択	2	全			1	1		
			政治学A	選択	2	全	1	1				
			政治学B	選択	2	全			1	1		
			経済学A	選択	2	全	1	1				
			経済学B	選択	2	全			1	1		
			社会学A	選択	2	全	1	1				
			社会学B	選択	2	全			1	1		
			科学技術史A	選択	2	全	1	1				
			科学技術史B	選択	2	全			1	1		
			日本国憲法	選択	2	全			1	1		00100
			教職入門	選択	2	全	1	1				10100
			教育心理学	選択	2	2	1	1				10200
			教育学概論	選択	2	全	1	1				10200
			教育社会学	選択	2	全			1	1		10200
			教職総合演習	選択	2	全	半期1コマ			※1		10700
		主題科目	技術経営学（MOT）	選択	2	全			1	1		
			技術者倫理	選択	2	全	半期1コマ			※1		60100
			仕事と職業	選択	2	2	1	1				
			日本経済の現在	選択	2	全			1	1		
			世界経済の現在	選択	2	全	1	1				
			現代社会と法	選択	2	全	1	1				
			社会福祉論	選択	2	全			1	1		
			日本の文化と倫理	選択	2	全			1	1		
			現代青年の心理と論理	選択	2	全	1	1				
			社会の成り立ち	選択	2	全			1	1		
			ことばと社会	選択	2	全	1	1				
			ヒトの発達心理学	選択	2	全			1	1		
			欧米文化研究	選択	2	全	半期1コマ			※1		
			アジア文化研究	選択	2	全	半期1コマ			※1		
			海外事情	選択	2	全	半期1コマ					
		教養ゼミ	教養ゼミA	選択	2	全	1	1				
			教養ゼミB	選択	2	全			1	1		

人間形成科目・英語科目 授業科目配当表

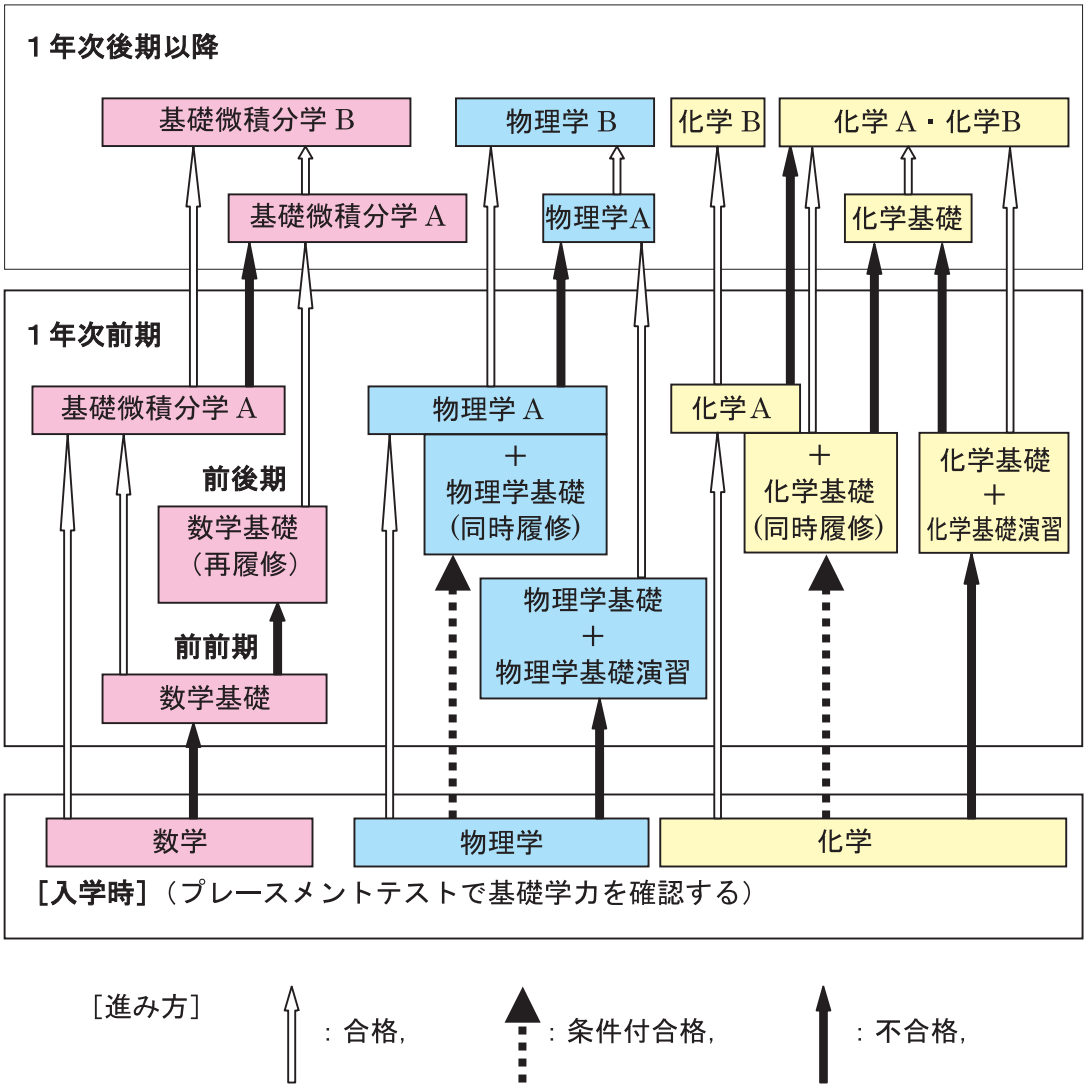
科目区分	科目群	分野	科目名	必選	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
共通教育科目	人間形成科目	第二外国語	ドイツ語入門Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			ドイツ語入門Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			基礎ドイツ語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			基礎ドイツ語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			初級ドイツ語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			初級ドイツ語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			フランス語入門Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			フランス語入門Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			基礎フランス語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			基礎フランス語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			初級フランス語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			初級フランス語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			中国語入門Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			中国語入門Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			基礎中国語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			基礎中国語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
			初級中国語Ⅰ	選択	1	全	1	1				00300
			初級中国語Ⅱ	選択	1	全			1	1		00300
		留学生科目	留学生のための日本語中級ＡⅠ	選択	1	1	1	1			（文法・語彙）　※2	
			留学生のための日本語中級ＡⅡ	選択	1	1			1	1	（文法・語彙）　※2	
			留学生のための日本語中級ＢⅠ	選択	1	1	1	1			（聴解・口頭表現）　※2	
			留学生のための日本語中級ＢⅡ	選択	1	1			1	1	（聴解・口頭表現）　※2	
			留学生のための日本語中級ＣⅠ	選択	1	1	1	1			（読解）　※2	
			留学生のための日本語中級ＣⅡ	選択	1	1			1	1	（読解）　※2	
			留学生のための日本語上級Ⅰ	選択	1	2	1	1			（文章表現）　※2	
			留学生のための日本語上級Ⅱ	選択	1	2			1	1	（文章表現）　※2	
			留学生のための日本事情Ⅰ	選択	2	1			1	1	※2	
			留学生のための日本事情Ⅱ	選択	2	2	1	1			※2	
			留学生のための日本事情Ⅲ	選択	2	2			1	1	※2	
			留学生のための日本事情Ⅳ	選択	2	3	1	1			※2	
		保健体育	体育Ⅰ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			体育Ⅱ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			体育Ⅲ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			体育Ⅳ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			体育Ⅴ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			体育Ⅵ	選択	1	全	半期1ｺﾏ					00200
			学外体育研修Ａ	選択	1	全	半期1ｺﾏ				集中講義	
			学外体育研修Ｂ	選択	1	全	半期1ｺﾏ				集中講義	
	英語科目	英語	英語ⅠＡ	必修	①	1	1	1				00300
			英語ⅠＢ	必修	①	1			1	1		00300
			英語ⅡＡ	必修	①	1	1	1				00300
			英語ⅡＢ	必修	①	1			1	1		00300
			英語ⅢＡ	必修	①	2	1	1				00300
			英語ⅢＢ	必修	①	2			1	1		00300
			英語ⅣＡ	必修	①	2	1	1				00300
			英語ⅣＢ	必修	①	2			1	1		00300
			英語ⅤＡ	選択	1	3	1	1				00300
			英語ⅤＢ	選択	1	3			1	1		00300
		英語研修	海外英語研修Ａ	選択	2	全	半期2コマ				集中講義	
			海外英語研修Ｂ	選択	2	全	半期2コマ				集中講義	
			海外英語研修Ｃ	選択	2	全	半期2コマ				集中講義	
			海外英語研修Ｄ	選択	1	全	半期1コマ				集中講義	

※1　ただし、前期・後期開講　　※2　留学生のみ履修が可能

※　教職コードは、「教職課程」参照。　※　単位数が○で囲まれている科目は必修科目。

共通科目群の科目配置図

［履修の順序に注意が必要な科目］



［その他の共通科目］

配当期	数学・物理学・化学分野	その他の自然科学・情報・工学分野
１年次前期	基礎線形代数学 A 基礎物理学実験* 基礎化学実験*	環境科学* 情報処理 A**・情報処理 B** 立体図学・工学基礎
１年次後期	基礎線形代数学 B 基礎物理学実験* 基礎化学実験*	生物科学*・環境科学* 情報処理 B**

*　前期と後期のどちらで履修しても良い科目
**　学生の技量に応じて選択する科目

2013年度 カリキュラム
学部共通科目 授業科目配当表

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	学部共通科目	基礎	数学基礎	選択	1	1	※1					
			物理学基礎	選択	1	1	1	1				
			物理学基礎演習	選択	1	1	1	1				
			化学基礎	選択	1	1	半期1コマ		※3			
			化学基礎演習	選択	1	1	1	1				
		数学	基礎微積分学Ａ	選択	2	1	※2					20300
			基礎微積分学Ｂ	選択	2	1			1	1		20300
			基礎線形代数学Ａ	選択	2	1	1	1				20100
			基礎線形代数学Ｂ	選択	2	1			1	1		20100
		物理学	物理学Ａ	選択	2	1	半期1コマ		※3			30100
			物理学Ｂ	選択	2	1			1	1		30100
			基礎物理学実験	選択	2	1	半期2コマ		※3			30200
		化学	化学Ａ	選択	2	1	半期1コマ		※3			30300
			化学Ｂ	選択	2	1			1	1		30300
			基礎化学実験	選択	2	1	半期2コマ		※3			30400
		生物	生物科学	選択	2	1			1	1		30500
		地学	環境科学	選択	2	1	半期1コマ		※3			30700
		情報	情報処理Ａ	選択	2	1	1	1				00400
			情報処理Ｂ	選択	2	1	半期1コマ		※3			70100
		工学	立体図学	選択	2	1	1	1				
			工学基礎	選択	2	1	1	1				
		キャリア開発	キャリアワークショップ	選択	2	2			1	1		
			ＴＤＵプロジェクト科目Ａ	選択	2	3	1	1				
			ＴＤＵプロジェクト科目Ｂ	選択	2	3			1	1		

※1　1/4期2コマ（ただし、前前期・前後期開講）
※2　1/4期2コマまたは半期1コマ
※3　ただし、前期・後期開講
※　教職コードは、「教職課程」参照。

理学系の科目配置図

4年

理学卒業研究Ⅰ・Ⅱ
（必要に応じて）理学インターンシップE・F

〔数学コース専門科目〕
偏微分方程式
関数解析学
代数学Ⅳ
幾何学Ⅲ
数学と社会

〔物理学コース専門科目〕
物性論Ⅱ
特論Ⅰ・Ⅱ

〔化学コース専門科目〕
化学輪講

〔数理情報学コース専門科目〕
専門科目は
配置しない

3年

〔数学コース専門科目〕
代数学Ⅱ・Ⅲ
位相空間Ⅱ
複素解析学Ⅱ
幾何学Ⅱ
統計学
数学輪講Ⅰ・Ⅱ

〔物理学コース専門科目〕
統計力学Ⅱ
量子力学Ⅲ
物性論Ⅰ
物理学課題探求Ⅱ
量子力学演習
統計力学演習

〔化学コース専門科目〕
統計力学Ⅱ
無機化学Ⅱ
高分子科学
電気化学
有機合成化学
工業化学
化学実験B・C
化学セミナー
化学課題探求Ⅱ

〔数理情報学コース専門科目〕
人工知能
データ科学
ロボット科学
画像解析
学習理論
システム理論
制御理論
数理情報学応用演習
数理情報学輪講Ⅰ・Ⅱ

〔理学系共通科目〕
（数学・物理学・化学・地学分野）
解析学Ⅲ・解析学Ⅳ・解析学Ⅲ演習
計測と分析・量子力学Ⅱ・統計力学Ⅰ・機器分析・分子分光学
量子化学・生態地球科学・地学実験

（その他）理学特別卒業研究、理学インターンシップC、D

2年

〔数学コース専門科目〕
数学史
代数入門

学系共通科目の数学分野科目を履修すること

〔物理学コース専門科目〕
化学熱力学
物理学課題探求Ⅰ
連続体の物理
電磁気学演習

〔化学コース専門科目〕
化学熱力学
有機化学Ⅱ
界面化学
化学工学
化学課題探求Ⅰ

〔数理情報学コース専門科目〕
最適化法
数理情報学基礎演習

〔理学系共通科目〕

（数学分野）
解析学Ⅰ、Ⅱ・解析学Ⅰ、Ⅱ演習
線形代数学Ⅰ、Ⅱ
代数学Ⅰ・代数学Ⅰ演習
位相空間Ⅰ・位相空間Ⅰ演習
常微分方程式・常微分方程式演習
複素解析学Ⅰ・幾何学Ⅰ
確率論

（物理学・化学・生物学分野）
熱力学・量子力学Ⅰ
化学実験A・物理学実験
電磁気学・物理数学
有機化学Ⅰ・無機化学Ⅰ
材料化学・化学反応学
生物学

（数理情報学分野）
離散数学
応用線形代数学
情報論
信号理論
画像処理
数理プログラミングⅡ

（その他）理学インターンシップA、B

1年

〔理学系共通科目〕

（数学分野）
数学演習Ⅰ、Ⅱ
数理のふしぎ

（物理学・化学分野）
力学・基礎有機化学・生命の化学

（数理情報学分野）
数理プログラミングⅠ・数理情報学入門

〔学部共通科目（基礎科目）〕
（基　礎）：数学基礎・物理学基礎・化学基礎・物理学基礎演習・化学基礎演習
（数　学）：基礎微積分学A・B、基礎線形代数学A・B
（物理学）：物理学A・B・基礎物理学実験
（化　学）：化学A・B・基礎化学実験
（その他）：環境科学・生物科学・情報処理A・B・立体図学・工学基礎

共通教育科目

人間形成科目

英語科目

理学系　進級条件表　RU

（2013年度カリキュラム）

1年次→2年次
　1年次配当科目から30単位以上を修得のこと。
2年次→3年次
　進級条件を設けない。
3年次→4年次
　1～3年次配当科目から104単位以上修得のこと。ただし以下の各条件を満たすこと。

＊進級条件の単位数には、自由科目の単位は含まれません。

1. 下記の単位を修得のこと。

区分			単位数	（卒業条件）
人間形成科目			12	（16）
英語科目			6	（ 8）※1
学部共通科目			12	（14）
副コースを理学系から選んだ場合	学系共通科目		28	（36）
	コース専門科目	主コース	14	（22）※2
		副コース	6	（ 8）
副コースを他学系から選んだ場合	学系共通科目	主コース	22	（26）
		副コース	10	（14）
	コース専門科目	主コース	14	（22）※2
		副コース	2	（ 4）

※1 必修の8科目（1年次および2年次配当科目）を含む　※2 卒業研究を含む

2. 理学系の各コースを主コースで選んだ場合，下記科目を履修し単位を修得していること。

数学コース	物理学コース	化学コース	数理情報学コース
［学系共通科目］	［学系共通科目］	［学系共通科目］	［学部共通科目］
次の3科目を全て修得のこと	次の1科目を修得のこと	次の1科目を修得のこと	次の4科目中3科目以上を修得のこと
数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 数理のふしぎ	物理学実験	化学実験A	基礎微積分学A 基礎微積分学B 基礎線形代数学A 基礎線形代数学B
次の15科目中下記科目数を修得のこと。（ただし演習科目のみの履修は認めない） 副コースも理学系の場合は10科目以上，副コースが他学系の場合は8科目以上	［コース専門科目］ 次の2科目を全て修得のこと 物理学課題探求Ⅰ（U2） 物理学課題探求Ⅱ（U2）	［コース専門科目］ 次の4科目を全て修得のこと 化学実験B（U3） 化学実験C（U3） 化学セミナー（U3） 化学課題探求Ⅱ（U3）	［コース専門科目］ 次の4科目を全て修得のこと 数理情報学基礎演習（U4） 数理情報学応用演習（U4） 数理情報学輪講Ⅰ（U4） 数理情報学輪講Ⅱ（U4）
解析学Ⅰ 解析学Ⅰ演習 解析学Ⅱ 解析学Ⅱ演習 解析学Ⅲ 解析学Ⅲ演習 解析学Ⅳ 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 代数学Ⅰ 代数学Ⅰ演習 位相空間Ⅰ 位相空間Ⅰ演習 常微分方程式 常微分方程式演習			
［コース専門科目］ 次の2科目から1科目以上を修得のこと 代数入門（U1） 数学史（U1）			
次の2科目を全て修得のこと 数学輪講Ⅰ（U1） 数学輪講Ⅱ（U1）			

3. 理学系の各コースを副専攻コースで選んだ場合はどのコースも進級の条件となる科目はありません。

2013年度 カリキュラム 理学系 授業科目配当表

RU

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期		後期		備考	教職コード
								前前期	前後期	後前期	後後期		
専門教育科目	学系共通科目	数学	数学演習Ⅰ	選択		2	1	1	1				
		数学	数学演習Ⅱ	選択		2	1			1	1		
		数学	数理のふしぎ	選択		2	1			1	1		
		数学	解析学Ⅰ	選択		2	2	1	1				20300
		数学	解析学Ⅰ演習	選択		2	2	1	1				20300
		数学	解析学Ⅱ	選択		2	2			1	1		20300
		数学	解析学Ⅱ演習	選択		2	2			1	1		20300
		数学	解析学Ⅲ	選択		2	3	1	1				20300
		数学	解析学Ⅲ演習	選択		2	3	1	1				20300
		数学	解析学Ⅳ	選択		2	3			1	1		20300
		数学	線形代数学Ⅰ	選択		2	2	1	1				20100
		数学	線形代数学Ⅱ	選択		2	2			1	1		20100
		数学	代数学Ⅰ	選択		2	2			1	1		20100
		数学	代数学Ⅰ演習	選択		1	2			1	1		20100
		数学	位相空間Ⅰ	選択		2	2			1	1		20200
		数学	位相空間Ⅰ演習	選択		1	2			1	1		20200
		数学	常微分方程式	選択		2	2	1	1				20300
		数学	常微分方程式演習	選択		1	2	1	1				20300
		数学	複素解析学Ⅰ	選択		2	2			1	1		20300
		数学	幾何学Ⅰ	選択		2	2	1	1				20200
		数学	確率論	選択		2	2	1	1				20400
		物理化学	計測と分析	選択		2	3	1	1				30100
		物理化学	熱力学	選択		2	2	1	1				30100
		物理化学	統計力学Ⅰ	選択		2	3	1	1				30100
		物理化学	量子力学Ⅰ	選択		2	2			1	1		30100
		物理化学	量子力学Ⅱ	選択		2	3	1	1				30100
		物理化学	量子化学	選択		2	3	1	1				30300
		物理学実験	物理学実験	選択		2	2	2	2				30200
		化学実験	化学実験Ａ	選択		2	2			2	2		30400
		物理学	力学	選択		2	1			1	1		30100
		物理学	電磁気学	選択		2	2	1	1				30100
		物理学	物理数学	選択		2	2	1	1				30100
		化学	生命の化学	選択		2	1			1	1		30300
		化学	基礎有機化学	選択		2	1			1	1		30300
		化学	有機化学Ⅰ	選択		2	2	1	1				30300
		化学	無機化学Ⅰ	選択		2	2			1	1		30300
		化学	材料化学	選択		2	2			1	1		30300
		化学	化学反応学	選択		2	2			1	1		30300
		化学	機器分析	選択		2	3			1	1		
		化学	分子分光学	選択		2	3			1	1		30300
		生物学	生物学	選択		2	2	1	1				30500
		地学	生態地球科学	選択		2	3	1	1				30700
		地学	地学実験	選択		2	3	半期1ｺﾏ				集中講義	30800
		数理情報学	数理プログラミングⅠ	選択		2	1			1	1		20500
		数理情報学	数理プログラミングⅡ	選択		2	2	1	1				60200
		数理情報学	数理情報学入門	選択		2	1	1	1				60100
		数理情報学	離散数学	選択		2	2	1	1				20500
		数理情報学	応用線形代数学	選択		2	2	1	1				20100
		数理情報学	情報論	選択		2	2			1	1		60400
		数理情報学	信号理論	選択		2	2			1	1		
		数理情報学	画像処理	選択		2	2			1	1		60500

コースコードは、U1:数学コース・U2:物理学コース・U3化学コース・U4:数理情報学コース
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 理学系 授業科目配当表

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	数学コース専門科目	数学	数学史	選択	U1	2	2			1	1		
		数学	代数入門	選択	U1	2	2	1	1				20100
		数学	代数学Ⅱ	選択	U1	2	3	1	1				20100
		数学	代数学Ⅲ	選択	U1	2	3			1	1		20100
		数学	位相空間Ⅱ	選択	U1	2	3			1	1		20200
		数学	幾何学Ⅱ	選択	U1	2	3	1	1				20200
		数学	関数解析学	選択	U1	2	4			1	1		20300
		数学	統計学	選択	U1	2	3			1	1		20400
		輪講	数学輪講Ⅰ	選択	U1	2	3	1	1				
		輪講	数学輪講Ⅱ	選択	U1	2	3			1	1		
		数学	偏微分方程式	選択	U1	2	4			1	1		20300
		数学	複素解析学Ⅱ	選択	U1	2	3			1	1		20300
		数学	代数学Ⅳ	選択	U1	2	4			1	1		20100
		数学	幾何学Ⅲ	選択	U1	2	4	1	1				20200
		数学	数学と社会	選択	U1	2	4	1	1				
	物理学コース専門科目	物理学	連続体の物理	選択	U2	2	2			1	1		30100
		物理学	物理学課題探求Ⅰ	選択	U2	2	2			2	2		30200
		物理学	物理学課題探求Ⅱ	選択	U2	2	3			2	2		30200
		物理学	化学熱力学	選択	U2	2	2			1	1	※1	30300
		物理学	統計力学Ⅱ	選択	U2	2	3			1	1	※1	30100
		物理学	量子力学Ⅲ	選択	U2	2	3			1	1		30100
		物理学	物性論Ⅰ	選択	U2	2	3			1	1		30100
		物理学	物性論Ⅱ	選択	U2	2	4	1	1				30100
		物理学	電磁気学演習	選択	U2	2	2	1	1				
		物理学	量子力学演習	選択	U2	2	3	1	1				
		物理学	統計力学演習	選択	U2	2	3	1	1				
		輪講	特論Ⅰ	選択	U2	2	4	1	1				
		輪講	特論Ⅱ	選択	U2	2	4			1	1		
	化学コース専門科目	化学	化学課題探求Ⅰ	選択	U3	2	2			1	1		
		化学	化学課題探求Ⅱ	選択	U3	2	3			1	1		
		化学	化学熱力学	選択	U3	2	2			1	1	※1	30300
		化学	統計力学Ⅱ	選択	U3	2	3			1	1	※1	30100
		化学	有機化学Ⅱ	選択	U3	2	2			1	1		30300
		化学	界面化学	選択	U3	2	2			1	1		30300
		化学	無機化学Ⅱ	選択	U3	2	3	1	1				30300
		化学	高分子科学	選択	U3	2	3			1	1		30300
		化学	電気化学	選択	U3	2	3	1	1				30300
		化学	化学工学	選択	U3	2	2			1	1		
		化学	工業化学	選択	U3	2	3			1	1		
		化学	有機合成化学	選択	U3	2	3	1	1				30300
		実験	化学実験B	選択	U3	2	3	1/4期4コマ				前前期および前後期開講	30400
		実験	化学実験C	選択	U3	2	3	1/4期4コマ				前前期および前後期開講	30400
		輪講	化学セミナー	選択	U3	2	3			1	1		
		輪講	化学輪講	選択	U3	2	4	1	1				
	数理情報学コース専門科目	数理情報学	人工知能	選択	U4	2	3	1	1				60500
		数理情報学	データ科学	選択	U4	2	3			1	1		60300
		数理情報学	最適化法	選択	U4	2	2			1	1		
		数理情報学	ロボット科学	選択	U4	2	3			1	1		
		数理情報学	画像解析	選択	U4	2	3	1	1				20500
		数理情報学	学習理論	選択	U4	2	3			1	1		
		数理情報学	システム理論	選択	U4	2	3	1	1				
		数理情報学	制御理論	選択	U4	2	3			1	1		
		数理情報学	数理情報学基礎演習	選択	U4	2	2			1	1		60300
		数理情報学	数理情報学応用演習	選択	U4	2	3	1	1				60500
		輪講	数理情報学輪講Ⅰ	選択	U4	2	3	1	1				
		輪講	数理情報学輪講Ⅱ	選択	U4	2	3			1	1		

コースコードは、U1:数学コース・U2:物理学コース・U3化学コース・U4:数理情報学コース
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 理学系 授業科目配当表

RU

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期		後期		備考	教職コード
								前前期	前後期	後前期	後後期		
専門教育科目	コース専門科目	職業	理学インターンシップA	選択		2	2	1	1				
		職業	理学インターンシップB	選択		2	2			1	1		
		職業	理学インターンシップC	選択		2	3	1	1				
		職業	理学インターンシップD	選択		2	3			1	1		
		職業	理学インターンシップE	選択		2	4	1	1				
		職業	理学インターンシップF	選択		2	4			1	1		
		職業	情報と職業	選択		2	2			1	1		60600
		職業	情報と職業入門	選択		1	全	1					60600
		職業	情報と倫理	自由		2	2			1	1		60100
		卒業研究	理学特別卒業研究	選択		3	3			3	3	３年以上の在学での卒業対象者のみ適用	
		卒業研究	理学卒業研究Ⅰ	必修		③	4	3	3				
		卒業研究	理学卒業研究Ⅱ	必修		③	4			3	3		

※1の科目を履修した場合は、同一科目名の他コース科目を履修することはできません。

※　単位数が〇で囲まれている科目は必修科目。

コースコードは、U1:数学コース・U2:物理学コース・U3化学コース・U4:数理情報学コース
教職コードは、「教職課程」参照。

生命理工学系　進級条件表

RB

（2013年度カリキュラム）

1年次→2年次

1年次配当科目から30単位以上を修得のこと。

2年次→3年次

進級条件を設けない。

3年次→4年次

1～3年次配当科目から104単位以上修得のこと。ただし以下の各条件を満たすこと。

＊進級条件の単位数には、自由科目の単位は含まれません。

1. 下記の単位を修得のこと。

区分			単位数	（卒業条件）
人間形成科目			12	(16)
英語科目			6	(8)※1
学部共通科目			12	(14)
副コースを生命理工学系から選んだ場合	学系共通科目		28	(36)
	コース専門科目	主コース	14	(22)※2
		副コース	6	(8)
副コースを他学系から選んだ場合	学系共通科目	主コース	22	(26)
		副コース	10	(14)
	コース専門科目	主コース	14	(22)※2
		副コース	2	(4)

※1 必修の8科目（1年次および2年次配当科目）を含む　※2 卒業研究を含む

2. 上の条件に加えて、以下に定める科目・単位を修得のこと。

	以下の条件を満たし、3年次までに配当されている専門科目（学部共通科目群・学系共通科目群・コース科目群）から78単位以上を修得のこと
学系共通科目群 および コース科目群	1. 副コースを生命理工学系とした場合
	以下の条件を満たし、学系共通科目群およびコース科目群より、56単位以上修得のこと ①「生命理工学実験Ⅰ・Ⅱ」および所属する主コースの実験科目を全て修得すること ②「生命理工学ゼミⅠ・Ⅱ」および所属する主コースの「生命理工学ゼミⅢ・Ⅳ」，「生命理工学キャリア開発ゼミ」を全て修得すること
	2. 副コースを生命理工学系以外の学系から選択した場合
	以下の条件を満たすこと ①「生命理工学実験Ⅰ・Ⅱ」および所属する主コースの実験科目を全て修得すること ②「生命理工学ゼミⅠ・Ⅱ」および所属する主コースの「生命理工学ゼミⅢ・Ⅳ」，「生命理工学キャリア開発ゼミ」を全て修得すること

※副コースのみ、生命理工学系のコースを選択した場合の進級基準は、主コースの学系・コースに従う

2013年度 カリキュラム 生命理工学系 授業科目配当表

RB

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	学系共通科目	基礎	生命科学入門	選択		2	1	1	1				
		基礎	生命の化学	選択		2	1			1	1		30300
		基礎	細胞の科学	選択		2	1			1	1		30500
		基礎	環境生命工学	選択		2	1			1	1		30500
		基礎	基礎有機化学	選択		2	1			1	1		
		基礎	生理学	選択		2	1			1	1		
		生物	生物学	選択		2	2	1	1				30500
		生物	遺伝学	選択		2	2	1	1				30500
		生物	生物統計学	選択		2	2	1	1				
		生命	生化学	選択		2	2	1	1				30300
		生命	医学概論Ⅰ	選択		2	2	1	1				
		化学	有機化学Ⅰ	選択		2	2	1	1				30300
		化学	生命物理化学	選択		2	2	1	1				30300
		化学	食品製造学概論	選択		2	2	1	1				
		生物	分子生物学	選択		2	2			1	1		30500
		生物	植物生理学	選択		2	2			1	1		30500
		生物	微生物学	選択		2	2			1	1		30500
		生命	食品化学	選択		2	2			1	1		
		化学	有機化学Ⅱ	選択		2	2			1	1		30300
		化学	無機化学Ⅰ	選択		2	2			1	1		30300
		化学	環境分析学	選択		2	2			1	1		
		職業	生命理工学実践論	選択		2	2			1	1		
		生物	生態地球科学	選択		2	3	1	1				30700
		化学	生命分析化学	選択		2	3	1	1				30300
		化学	生体高分子科学Ⅰ	選択		2	3	1	1				30300
		化学	環境適応学	選択		2	3			1	1		
		化学	機器分析	選択		2	3			1	1		70100
		化学	電気化学	選択		2	3			1	1		30300
		ゼミ	生命理工学ゼミⅠ	選択		2	1	1	1				
		ゼミ	生命理工学ゼミⅡ	選択		2	1			1	1		
		実験	生命理工学実験Ⅰ	選択		2	2	2	2				30600
		実験	生命理工学実験Ⅱ	選択		2	2			2	2		30600
		地学	地学実験	選択		2	3	半期1ｺﾏ					30800
	コース専門（生命科学）	生物	免疫学	選択	B1	2	2	1	1				30500
		生物	生体組織学	選択	B1	2	2			1	1		30500
		生命	生物情報科学	選択	B1	2	3	1	1				
		生命	遺伝子工学	選択	B1・B2	2	3	1	1				30500
		生命	生体材料学	選択	B1	2	3	1	1				
		化学	有機合成化学	選択	B1	2	3	1	1				
		生物	細胞生物学	選択	B1・B2	2	3			1	1		
		生命	薬理学	選択	B1	2	3			1	1		30500
		生命	再生医化学	選択	B1	2	3			1	1		30300
		化学	生体高分子科学Ⅱ	選択	B1	2	3			1	1		
		実験	生命科学実験Ⅰ	選択	B1	2	3	2	2				30600
		実験	生命科学実験Ⅱ	選択	B1	2	3			2	2		30600
	コース専門（生物環境）	生物	植物環境学	選択	B2	2	2	1	1				
		環境	水圏の環境	選択	B2	2	2			1	1		70100
		環境	気圏・地圏の環境	選択	B2	2	2			1	1		70100
		生物	細胞工学	選択	B1・B2	2	3	1	1				30500
		化学	食品工学	選択	B1・B2	2	3	1	1				
		化学	食品加工学	選択	B2	2	3	1	1				
		化学	環境計測	選択	B2	2	3	1	1				
		生物	応用微生物学	選択	B2	2	3			1	1		30500
		化学	生物反応学	選択	B2	2	3			1	1		30500
		環境	生物圏の環境	選択	B2	2	3			1	1		70100
		実験	生物環境実験Ⅰ	選択	B2	2	3	2	2				30600
		実験	生物環境実験Ⅱ	選択	B2	2	3			2	2		30600

※ コースコードは、B1:生命科学コース・B2:生物環境コース。　※ 教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 生命理工学系　授業科目配当表

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	コース専門科目	職業	情報と職業入門	選択		1	全	1					60600
		職業	情報と職業	選択		2	全			1	1		60600
		職業	情報と倫理	自由		2	2			1	1		60100
		職業	職業指導	自由		4	4	1	1	1	1		70200
		職業	生命理エインターンシップＡ	選択		2	2	1	1				
		職業	生命理エインターンシップＢ	選択		2	2			1	1		
		職業	生命理エインターンシップＣ	選択		2	3	1	1				
		職業	生命理エインターンシップＤ	選択		2	3			1	1		
		職業	生命理エインターンシップＥ	選択		2	4	1	1				
		職業	生命理エインターンシップＦ	選択		2	4			1	1		
		ゼミ	生命理工学ゼミⅢ	選択	B1・B2	2	2			1	1	所属する主コースより履修	
		ゼミ	生命理工学ゼミⅣ	選択	B1・B2	2	3	1	1			所属する主コースより履修	
		ゼミ	生命理工学キャリア開発ゼミ	選択	B1・B2	2	3			1	1	所属する主コースより履修	
		卒研	生命理工特別卒業研究	選択		3	3			3	3	３年以上の在学での卒業対象者のみ適用	
		卒研	生命理工卒業研究Ⅰ	必修		③	4	3	3				
		卒研	生命理工卒業研究Ⅱ	必修		③	4			3	3		

※　単位数が〇で囲まれている科目は必修科目。

※ コースコードは、B1:生命科学コース・B2:生物環境コース。　　※ 教職コードは、「教職課程」参照。

情報システムデザイン学系科目配置図

	コンピュータサイエンスコース専門科目	コンピュータソフトウェアコース専門科目	ネットワークシステムコース専門科目	アミューズメントデザインコース専門科目	社会コミュニケーションコース専門科目	キャリア科目	学部共通
4年	情報システムデザイン卒業研究Ⅰ・Ⅱ					情報システムデザインインターンシップE・F 情報と職業入門 情報と職業	共通教育科目 人間形成科目 英語科目
	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ		
3年	情報学ゼミ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ コンパイラ 計算量と暗号 ソフトウェア工学 数理最適化入門 知識と推論 論理プログラミング コンピュータサイエンス実験 ゲームプログラミングB 人工知能プログラミング コンピュータサイエンス演習Ⅰ コンピュータサイエンス演習Ⅱ	情報学ゼミ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ コンパイラ 画像工学 空間情報処理 数理最適化入門 数理とデザイン 論理プログラミング ソフトウェア工学 ゲームプログラミングB ネットワークプログラミング 人工知能プログラミング コンピュータソフトウエア実習	情報学ゼミ アルゴリズムとデータ構造Ⅱ 計算量と暗号 多変量解析 確率ネットワーク 数理最適化入門 ワイヤレスネットワーク 画像工学 ソフトウェア工学 ネットワークプログラミング ネットワークシステム実習	情報学ゼミ 感性とデザイン 空間音響デザイン論 遊戯文化論 映像制作論 アミューズメント産業論 数理とデザイン インタラクティブデザイン論 アミューズメントデバイス論 ゲームプログラミングB アミューズメントデザイン実習	情報学ゼミ 感性とデザイン 非言語コミュニケーション論 多変量解析 教育システムデザイン論 人間計測法 メディア×カルチャー 文化表象論 遊戯文化論 社会調査論B 社会コミュニケーション実習	情報産業論 地域貢献論 情報システムデザインインターンシップC・D 情報と職業入門 情報と職業	
	学系共通						
	オペレーティングシステム	コンピュータ設計学	データベース	経営情報論	イメージ創造学		
2年	フーリエ解析 組み込みシステム ゲームプログラミングA 情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ	コンピュータグラフィックスⅠ コンピュータグラフィックスⅡ ゲームプログラミングA 情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ オブジェクト指向プログラミング	動的システム フーリエ解析 情報伝送工学 組み込みシステム 情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ オブジェクト指向プログラミング	コンピュータグラフィックスⅠ コンピュータグラフィックスⅡ ゲームプログラミングA 音楽構造論 感性工学 情報社会学実習Ⅰ 情報社会学実習Ⅱ	環境健康論A 環境健康論B 性格心理学 社会調査論A 出版メディア論 情報社会学実習Ⅰ 情報社会学実習Ⅱ	キャリア開発論 基本情報処理技術 情報システムデザインインターンシップA・B 情報と職業入門 情報と職業	
	学系共通						
	数値解析学 情報・符号理論 コミュニケーション科学 アルゴリズムとデータ構造Ⅰ コンピュータプログラミングⅡ・同演習	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	情報ネットワーク概論 電気基礎 論理回路 色彩論	音楽文化論 空間演出デザイン論 美術・芸術学 形式言語とオートマトン 映像情報システム	現代マスコミ論 社会心理学 言語と表現		
1年	学系共通					情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報と職業入門 情報と職業	
	情報社会学入門 コンピュータ基礎Ⅰ	情報数学 コンピュータ基礎Ⅱ	情報学基礎実習 造形デザイン実習	デザイン学 コンピュータプログラミングⅠ・同演習	基礎確率論		

情報システムデザイン学系　進級条件表

RD

（2013年度カリキュラム）

1年次→2年次
　1年次配当科目から30単位以上を修得のこと。
2年次→3年次
　進級条件を設けない。
3年次→4年次
　1～3年次配当科目から104単位以上修得のこと。ただし以下の各条件を満たすこと。

＊進級条件の単位数には、自由科目の単位は含まれません。

1．下記の単位を修得のこと。

区分			単位数	（卒業条件）
人間形成科目			12	（16）
英語科目			6	（ 8）※1
学部共通科目			12	（14）
副コースを情報システムデザイン学系から選んだ場合	学系共通科目		28	（36）
	コース専門科目	主コース	14	（22）※2
		副コース	6	（ 8）
副コースを他学系から選んだ場合	学系共通科目	主コース	22	（26）
		副コース	10	（14）
	コース専門科目	主コース	14	（22）※2
		副コース	2	（ 4）

※1 必修の8科目（1年次および2年次配当科目）を含む　※2 卒業研究を含む

2．情報システムデザイン学系の各コースを主コースで選んだ場合，下記科目を履修し単位を修得していること。
（※下記に記載のコース専門科目は、主コース科目または副コース科目として単位修得すること）

コンピュータサイエンスコース	コンピュータソフトウェア	ネットワークシステム	アミューズメントデザイン	社会コミュニケーション
情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報社会学入門 コンピュータプログラミングⅠ・同演習 情報学基礎実習 情報学ゼミ	情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報社会学入門 コンピュータプログラミングⅠ・同演習 情報学基礎実習 情報学ゼミ	情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報社会学入門 コンピュータプログラミングⅠ・同演習 情報学基礎実習 情報学ゼミ	情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報社会学入門 コンピュータプログラミングⅠ・同演習 情報学基礎実習 情報学ゼミ	情報システムデザイン概論 日本語表現力 情報社会学入門 コンピュータプログラミングⅠ・同演習 情報学基礎実習 情報学ゼミ
情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ コンピュータサイエンス実験 コンピュータプログラミングⅡ・同演習	情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ コンピュータソフトウェア実習	情報システム実験Ⅰ 情報システム実験Ⅱ ネットワークシステム実習	情報社会学実習Ⅰ 情報社会学実習Ⅱ アミューズメントデザイン実習	情報社会学実習Ⅰ 情報社会学実習Ⅱ 社会コミュニケーション実習
次の6科目のうち4科目以上を修得のこと	次の6科目のうち4科目以上を修得のこと	次の6科目のうち4科目以上を修得のこと	次の6科目のうち4科目以上を修得のこと	次の6科目のうち4科目以上を修得のこと
情報数学 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 基礎確率論 デザイン学 統計学Ⅰ	情報数学 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 基礎確率論 デザイン学 統計学Ⅰ	情報数学 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 基礎確率論 デザイン学 統計学Ⅰ	情報数学 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 基礎確率論 デザイン学 統計学Ⅰ	情報数学 コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 基礎確率論 デザイン学 統計学Ⅰ
次の6科目のうち3科目以上を修得のこと	次の7科目のうち3科目以上を修得のこと	次の7科目のうち3科目以上を修得のこと	次の9科目のうち4科目以上を修得のこと	次の9科目のうち4科目以上を修得のこと
電気基礎 論理回路 情報ネットワーク概論 データベース アルゴリズムとデータ構造Ⅰ 情報・符号理論	電気基礎 論理回路 情報ネットワーク概論 データベース アルゴリズムとデータ構造Ⅰ 情報・符号理論 コンピュータプログラミングⅡ・同演習	電気基礎 論理回路 情報ネットワーク概論 データベース アルゴリズムとデータ構造Ⅰ 情報・符号理論 コンピュータプログラミングⅡ・同演習	造形デザイン実習 言語と表現 美術・芸術学 現代マスコミ論 空間演出デザイン論 色彩論 社会心理学 コミュニケーション科学 イメージ創造学	造形デザイン実習 言語と表現 美術・芸術学 現代マスコミ論 空間演出デザイン論 色彩論 社会心理学 コミュニケーション科学 イメージ創造学
次の7科目中4科目以上を修得のこと	次の9科目中4科目以上を修得のこと	次の5科目中3科目以上を修得のこと	次の9科目中3科目以上を修得のこと	次の5科目中2科目以上を修得のこと
数理最適化入門 組み込みシステム 知識と推論 アルゴリズムとデータ構造Ⅱ ソフトウェア工学 コンピュータサイエンス演習Ⅰ コンピュータサイエンス演習Ⅱ	数理最適化入門 ソフトウェア工学 アルゴリズムとデータ構造Ⅱ ゲームプログラミングA ゲームプログラミングB 人工知能プログラミング ネットワークプログラミング オブジェクト指向プログラミング 論理プログラミング	動的システム フーリエ解析 情報伝送工学 ワイヤレスネットワーク ネットワークプログラミング	感性工学 映像制作論 音楽構造論 遊戯文化論 インタラクティブデザイン論 ゲームプログラミングA ゲームプログラミングB コンピュータグラフィックスI コンピュータグラフィックスⅡ	メディア×カルチャー 文化表象論 非言語コミュニケーション論 性格心理学 教育システムデザイン論

2013年度 カリキュラム 情報システムデザイン学系 授業科目配当表 RD

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	学系共通科目	アート&デザイン	造形デザイン実習	選択		2	1	1	1				60500
	学系共通科目		デザイン学	選択		2	1			1	1		
	学系共通科目		音楽文化論	選択		2	2	1	1				
	学系共通科目		空間演出デザイン論	選択		2	2	1	1				
	学系共通科目		美術・芸術学	選択		2	2	1	1				
	学系共通科目		色彩論	選択		2	2			1	1		
	コース専門科目		音楽構造論	選択	D3	2	2			1	1		
	コース専門科目		映像制作論	選択	D3	2	3	1	1				
	学系共通科目		イメージ創造学	選択		2	3			1	1		
	コース専門科目		感性とデザイン	選択	D3・D4	2	3			1	1		
	コース専門科目		空間音響デザイン論	選択	D3	2	3			1	1		
	学系共通科目	キャリアデザイン	情報システムデザイン概論	必修		②	1	1	1				60100
	学系共通科目		日本語表現力	必修		②	1	1	1				
	学系共通科目		キャリア開発論	選択		1	2	1*		1		前期は再履修または担当教員が特別に認めた者のみ履修可	
	学系共通科目		基本情報処理技術	選択		2	2	1	1				60200
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップA	選択		2	2	1	1				
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップB	選択		2	2			1	1		
	学系共通科目		情報産業論	選択		2	3	1	1				
	学系共通科目		地域貢献論	選択		2	3	1	1				
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップC	選択		2	3	1	1				
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップD	選択		2	3			1	1		
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップE	選択		2	4	1	1				
	コース専門科目		情報システムデザインインターンシップF	選択		2	4			1	1		
	コース専門科目		情報と職業入門	選択		1	全	1					60600
	コース専門科目		情報と職業	選択		2	全			1	1		60600
	学系共通科目	コミュニケーション・心理	コミュニケーション科学	選択		2	2	1	1				
	コース専門科目		環境健康論A	選択	D4	2	2	1	1				
	学系共通科目		社会心理学	選択		2	2	1	1				
	学系共通科目		言語と表現	選択		2	2			1	1		
	コース専門科目		環境健康論B	選択	D4	2	2			1	1		
	コース専門科目		性格心理学	選択	D4	2	2			1	1		
	コース専門科目		非言語コミュニケーション論	選択	D4	2	3	1	1				
	コース専門科目		人間計測法	選択	D4	2	3			1	1		
	学系共通科目	情報科学	情報数学	選択		2	1			1	1		20500
	学系共通科目		基礎確率論	選択		2	1			1	1		20400
	学系共通科目		数値解析学	選択		2	2	1	1				60200
	学系共通科目		統計学Ⅰ	選択		2	2	1	1				20400
	学系共通科目		アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	選択		2	2			1	1		20500
	学系共通科目		情報・符号理論	選択		2	2			1	1		20100
	学系共通科目		統計学Ⅱ	選択		2	2			1	1		20400
	コース専門科目		アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	選択	D1・D2・D5	2	3	1	1				60300
	学系共通科目		形式言語とオートマトン	選択		2	2	1	1				
	コース専門科目		計算量と暗号	選択	D2・D5	2	3	1	1				
	コース専門科目		多変量解析	選択	D2・D4	2	3	1	1				20400
	コース専門科目		コンパイラ	選択	D1・D5	2	3			1	1		
	コース専門科目		確率ネットワーク	選択	D2	2	3			1	1		20400
	コース専門科目		数理最適化入門	選択	D1・D2・D5	2	3			1	1		60300
	コース専門科目		知識と推論	選択	D5	2	3			1	1		60500

コースコードは、D1:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄｳｪｱｺｰｽ ・ D2:ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑｺｰｽ ・ D3:ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾃﾞｻﾞｲﾝｺｰｽ ・ D4:社会ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺｰｽ ・ D5:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽｺｰｽ
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 情報システムデザイン学系 授業科目配当表 RD

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	学系共通科目	情報システム	コンピュータ基礎Ⅰ	選択		2	1	1	1				20500
	学系共通科目		コンピュータ基礎Ⅱ	選択		2	1			1	1		20500
	学系共通科目		電気基礎	選択		2	2	1	1				
	コース専門科目		動的システム	選択	D2	2	2	1	1				20300
	コース専門科目		フーリエ解析	選択	D2・D5	2	2			1	1		
	コース専門科目		情報伝送工学	選択	D2	2	2			1	1		60400
	コース専門科目		組み込みシステム	選択	D2・D5	2	2			1	1		60500
	学系共通科目		論理回路	選択		2	2			1	1		
	学系共通科目		映像情報システム	選択		2	2			1	1		
	学系共通科目		オペレーティングシステム	選択		2	3	1	1				60300
	学系共通科目		コンピュータ設計学	選択		2	3	1	1				60200
	学系共通科目		データベース	選択		2	3	1	1				60300
	コース専門科目		画像工学	選択	D1・D2	2	3	1	1				60500
	コース専門科目		空間情報処理	選択	D1	2	3			1	1		
	コース専門科目		ソフトウェア工学	選択	D1・D2・D5	2	3			1	1		60300
	学系共通科目	情報社会	情報社会学入門	必修		②	1	1	1				60100
	学系共通科目		現代マスコミ論	選択		2	2	1	1				
	コース専門科目		感性工学	選択	D3	2	2			1	1		
	コース専門科目		社会調査論Ａ	選択	D4	2	2			1	1		
	コース専門科目		メディア×カルチャー	選択	D4	2	3	1	1				
	学系共通科目		経営情報論	選択		2	3	1	1				
	コース専門科目		文化表象論	選択	D4	2	3	1	1				
	コース専門科目		遊戯文化論	選択	D3・D4	2	3	1	1				
	コース専門科目		教育システムデザイン論	選択	D4	2	3			1	1		
	コース専門科目		社会調査論Ｂ	選択	D4	2	3			1	1		
	コース専門科目		社会調査実習Ⅰ	選択		1	4	1	1				
	コース専門科目		社会調査実習Ⅱ	選択		1	4			1	1		
	コース専門科目	情報メディア	コンピュータグラフィックスⅠ	選択	D1・D3	2	2	1	1				20500
	コース専門科目		コンピュータグラフィックスⅡ	選択	D1・D3	2	2			1	1		60500
	コース専門科目		出版メディア論	選択	D4	2	2			1	1		
	学系共通科目		情報ネットワーク概論	選択		2	2			1	1		60400
	コース専門科目		アミューズメント産業論	選択	D3	2	3			1	1		
	コース専門科目		インタラクティブデザイン論	選択	D3	2	3	1	1				60500
	コース専門科目		ワイヤレスネットワーク	選択	D2	2	3	1	1				60400
	コース専門科目		数理とデザイン	選択	D1・D3	2	3	1	1				20200
	コース専門科目		アミューズメントデバイス論	選択	D3	2	3			1	1		
	学系共通科目	総合情報	情報学基礎実習	必修		②	1			2	2		
	コース専門科目		情報学ゼミ	必修		②	3			1	1		
	コース専門科目		情報システムデザイン卒業研究Ⅰ	必修		③	4	3	3				
	コース専門科目		情報システムデザイン卒業研究Ⅱ	必修		③	4			3	3		
	コース専門科目		情報システム実験Ⅰ	選択	D1・D2・D5	1	2	1	1				
	コース専門科目		情報社会学実習Ⅰ	選択	D3・D4	1	2	1	1				
	コース専門科目		コンピュータサイエンス実験	選択	D5	1	3			1	1		60200
	コース専門科目		情報システム実験Ⅱ	選択	D1・D2・D5	1	2			1	1		
	コース専門科目		情報社会学実習Ⅱ	選択	D3・D4	1	2			1	1		
	コース専門科目		コンピュータサイエンス演習Ⅰ	選択	D5	2	3	1	1				60500
	コース専門科目		アミューズメントデザイン実習	選択	D3	1	3	1	1				
	コース専門科目		コンピュータソフトウエア実習	選択	D1	1	3	1	1				
	コース専門科目		ネットワークシステム実習	選択	D2	1	3	1	1				
	コース専門科目		社会コミュニケーション実習	選択	D4	1	3	1	1				
	コース専門科目		情報システムデザイン特別卒業研究	選択		3	3			3	3	3年以上在学での卒業対象者のみ適用	
	コース専門科目		コンピュータサイエンス演習Ⅱ	選択	D5	2	3	1	1				60400

コースコードは、D1:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄｳｪｱｺｰｽ ・ D2:ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑｺｰｽ ・ D3:ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾃﾞｻﾞｲﾝｺｰｽ ・ D4:社会ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺｰｽ ・ D5:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽｺｰｽ
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 情報システムデザイン学系 授業科目配当表 RD

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期		後期		備考	教職コード
								前前期	前後期	後前期	後後期		
専門教育科目	学系共通科目	プログラミング	コンピュータプログラミングⅠ・同演習	必修		③	1	2*	2*	2	2	前期は再履修者のみ履修可	60200
	学系共通科目		コンピュータプログラミングⅡ・同演習	選択		3	2	2	2				60300
	コース専門科目		ゲームプログラミングA	選択	D1・D3・D5	2	2			1	1		
	コース専門科目		ゲームプログラミングB	選択	D1・D3・D5	2	3	1	1				
	コース専門科目		論理プログラミング	選択	D1・D5	2	3	1	1				60500
	コース専門科目		人工知能プログラミング	選択	D1・D5	2	3	1	1				
	コース専門科目		ネットワークプログラミング	選択	D1・D2	2	3	1	1				60400
	コース専門科目		オブジェクト指向プログラミング	選択	D1・D2	2	2			1	1		60300

※ 単位数が○で囲まれている科目は必修科目。

コースコードは、D1:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄｳｪｱｺｰｽ・D2:ﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑｺｰｽ ・D3:ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾃﾞｻﾞｲﾝｺｰｽ・D4:社会ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺｰｽ・D5:ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽｺｰｽ
教職コードは、「教職課程」参照。

電子・機械工学系の履修配置図

	【 電子システムコース 】	【 機械システムコース 】	
4年	**[電子システムコース専門科目]** **[前期]** 電子・機械工学卒業研究Ⅰ 生体情報工学、 自動車工学 **[後期]** 電子・機械工学卒業研究Ⅱ	**[機械システムコース専門科目]** **[前期]** 電子・機械工学卒業研究Ⅰ 機械システムゼミⅡ、 自動車工学 **[後期]** 電子・機械工学卒業研究Ⅱ	共通教育科目 人間形成科目 英語科目 情報と職業入門 情報と職業
3年	**[電子システムコース専門科目]** **[前期]** 電子情報実験Ⅰ、 電子システムゼミⅢ 電子デバイス工学 ディジタル回路、 パワーエレクトロニクス 信号処理工学A、 福祉機器学、 システム工学 ヒューマンインターフェース、 機械計測 **[後期]** 電子情報実験Ⅱ、 電子システムゼミⅣ 通信工学、 材料学、 電子設計、 医用電子工学 計算機工学 信号処理工学B、 エネルギー変換工学	**[機械システムコース専門科目]** **[前期]** 機械工学実験・実習Ⅲ、 機械設計製図Ⅲ 形状創成学・演習、 構造・機能材料学 工業熱力学・演習 ディジタル回路、 パワーエレクトロニクス 信号処理工学A、 福祉機器学、 システム工学 ヒューマンインターフェース、 機械計測 **[後期]** 機械工学実験・実習Ⅳ、 機械設計製図Ⅳ 機械システムゼミⅠ、 電子制御機械工学 材料変形学 信号処理工学B、 エネルギー変換工学	
	[学系共通科目] **[前期]** 応用数値解析、 応用プログラミング、 医学概論Ⅱ、 制御工学Ⅰ・演習 **[後期]** 統計解析、 人工臓器学、 制御工学Ⅱ・演習、 特別講義、 工学の倫理		
2年	**[電子システムコース専門科目]** **[前期]** 電子工学基礎実験Ⅰ、 電子システムゼミⅠ 電子物理学Ⅰ 電気・電子計測工学、 電磁気学Ⅱ・演習 **[後期]** 電子工学基礎実験Ⅱ、 電子システムゼミⅡ 電子物理学Ⅱ、 ディジタル情報理論、 生体工学 電子情報回路B、 電磁誘導工学・演習 機械要素Ⅱ、 機械力学	**[機械システムコース専門科目]** **[前期]** 機械工学実験・実習Ⅰ、 機械設計製図Ⅰ 電気・電子計測工学、 電磁気学Ⅱ・演習 **[後期]** 機械工学実験・実習Ⅱ、 機械設計製図Ⅱ 材料力学Ⅱ・演習、 機械工学概論、 材料強度学 流体力学Ⅱ・演習 電子情報回路B、 電磁誘導工学・演習 機械要素Ⅱ、 機械力学	
	[学系共通科目] **[前期]** 材料力学Ⅰ・演習、 剛体力学Ⅱ・演習、 流体力学Ⅰ・演習、 工業数学Ⅰ、コンピュータ工学Ⅰ、 医学概論Ⅰ 機械要素Ⅰ、 電子情報回路A **[後期]** 工業数学Ⅱ、 コンピュータ工学Ⅱ、 伝熱工学・演習、 過渡現象		
1年	**[学系共通科目]** **[前期]** 電子・機械工学概論、 電気回路Ⅰ・演習 **[後期]** 電子・機械工学製作実習、 電気回路Ⅱ・演習、 電磁気学Ⅰ・演習、 生理学、 剛体力学Ⅰ・演習 **[学部共通科目]** 数学基礎・物理学基礎・化学基礎、物理学基礎演習、化学基礎演習、基礎微分積分学A・B 基礎線形代数学A・B、物理学A・B、基礎物理学実験、化学A・B、基礎化学実験、環境科学 情報処理A・B、立体図学、工学基礎、生物科学		

その他： 電子・機械工学特別卒業研究（3年次）、電子・機械工学インターンシップA～F（2年～4年次）、職業指導（4年次）

電子・機械工学系　進級条件表
（2013年度カリキュラム）

1年次→2年次

1年次配当科目から30単位以上を修得のこと。

2年次→3年次

進級条件を設けない。

3年次→4年次

1～3年次配当科目から104単位以上修得のこと。ただし以下の各条件を満たすこと。

＊進級条件の単位数には、自由科目の単位は含まれません。

1. 下記の単位を修得のこと。

区分			単位数	（卒業条件）
人間形成科目			12	(16)
英語科目			6	(8)※1
学部共通科目			12	(14)
副コースを電子・機械工学系から選んだ場合	学系共通科目		28	(36)
	コース専門科目	主コース	14	(22)※2
		副コース	6	(8)
副コースを他学系から選んだ場合	学系共通科目	主コース	22	(26)
		副コース	10	(14)
	コース専門科目	主コース	14	(22)※2
		副コース	2	(4)

※1 必修の8科目（1年次および2年次配当科目）を含む　※2 卒業研究を含む

2. 電子・機械工学系の各コースを主コースで選んだ場合，下記科目を履修し単位を修得していること。

電子システムコース	機械システムコース
次の9科目を全て修得のこと 電子・機械工学概論 電子工学基礎実験Ⅰ(T1) 電子工学基礎実験Ⅱ(T1) 電子情報実験Ⅰ(T1) 電子情報実験Ⅱ(T1) 電子システムゼミⅠ(T1) 電子システムゼミⅡ(T1) 電子システムゼミⅢ(T1) 電子システムゼミⅣ(T1)	1. 次の10科目を全て修得のこと 電子・機械工学概論 機械工学実験・実習Ⅰ(T2) 機械工学実験・実習Ⅱ(T2) 機械工学実験・実習Ⅲ(T2) 機械工学実験・実習Ⅳ(T2) 機械設計製図Ⅰ(T2) 機械設計製図Ⅱ(T2) 機械設計製図Ⅲ(T2) 機械設計製図Ⅳ(T2) 機械システムゼミⅠ(T2) 2. 次の4科目の内5単位以上修得のこと 機械力学(T2) 材料力学Ⅱ・演習(T2) 流体力学Ⅱ・演習(T2) 工業熱力学・演習(T2)

2013年度 カリキュラム 電子・機械工学系 授業科目配当表

RT

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	学系共通科目	工学基礎	電子・機械工学概論	選択		2	1	1	1				70100
	学系共通科目		生理学	選択		2	1			1	1		
	学系共通科目		統計解析	選択		2	3			1	1		
	学系共通科目		電気回路Ⅰ・演習	選択		3	1	1.5	1.5				70100
	学系共通科目		電気回路Ⅱ・演習	選択		3	1			1.5	1.5		70100
	学系共通科目		電磁気学Ⅰ・演習	選択		3	1			1.5	1.5		70100
	コース専門科目		電磁気学Ⅱ・演習	選択	T1・T2	3	2	1.5	1.5				70100
	コース専門科目		電磁誘導工学・演習	選択	T1・T2	3	2			1.5	1.5		
	学系共通科目		材料力学Ⅰ・演習	選択		3	2	1.5	1.5				70100
	コース専門科目		材料力学Ⅱ・演習	選択	T2	3	2			1.5	1.5		70100
	学系共通科目		剛体力学Ⅰ・演習	選択		3	1			1.5	1.5		
	学系共通科目		剛体力学Ⅱ・演習	選択		3	2	1.5	1.5				70100
	学系共通科目		流体力学Ⅰ・演習	選択		3	2	1.5	1.5				70100
	学系共通科目	数理・情報技術	工業数学Ⅰ	選択		2	2	1	1				70100
	学系共通科目		工業数学Ⅱ	選択		2	2			1	1		70100
	学系共通科目		コンピュータ工学Ⅰ	選択		2	2	1	1				60200
	学系共通科目		コンピュータ工学Ⅱ	選択		2	2			1	1		60500
	学系共通科目		応用プログラミング	選択		2	3	1	1				60200
	学系共通科目		応用数値解析	選択		2	3	1	1				60200
	コース専門科目		ディジタル情報理論	選択	T1	2	2			1	1		60400
	コース専門科目		信号処理工学A	選択	T1・T2	2	3	1	1				60200
	コース専門科目		信号処理工学B	選択	T1・T2	2	3			1	1		60200
	コース専門科目		計算機工学	選択	T1	2	3			1	1		60300
	コース専門科目	電子工学	電気・電子計測工学	選択	T1・T2	2	2	1	1				70100
	学系共通科目		電子情報回路A	選択		2	2	1	1				60300
	コース専門科目		電子情報回路B	選択	T1・T2	2	2			1	1		60300
	コース専門科目		ディジタル回路	選択	T1・T2	2	3	1	1				70100
	コース専門科目		電子設計	選択	T1	2	3			1	1		70100
	コース専門科目		電子物理学Ⅰ	選択	T1	2	2	1	1				70100
	コース専門科目		電子物理学Ⅱ	選択	T1	2	2			1	1		70100
	コース専門科目		電子デバイス工学	選択	T1	2	3	1	1				
	コース専門科目		材料学	選択	T1	2	3			1	1		
	コース専門科目		通信工学	選択	T1	2	3			1	1		60400
	学系共通科目	生体医工学	医学概論Ⅰ	選択		2	2	1	1				
	学系共通科目		医学概論Ⅱ	選択		2	3	1	1				
	コース専門科目		生体工学	選択	T1	2	2			1	1		70100
	コース専門科目		医用電子工学	選択	T1	2	3			1	1		70100
	コース専門科目		福祉機器学	選択	T1・T2	2	3	1	1				70100
	学系共通科目		人工臓器学	選択		2	3			1	1		
	コース専門科目		生体情報工学	選択	T1	2	4	1	1				60400
	学系共通科目	機械・電子制御	過渡現象	選択		2	2			1	1		70100
	学系共通科目		制御工学Ⅰ・演習	選択		3	3	1.5	1.5				70100
	学系共通科目		制御工学Ⅱ・演習	選択		3	3			1.5	1.5		70100
	コース専門科目		システム工学	選択	T1・T2	2	3	1	1				60500
	コース専門科目		電子制御機械工学	選択	T2	2	3			1	1		70100
	コース専門科目		機械計測	選択	T1・T2	2	3	1	1				70100
	コース専門科目		ヒューマンインターフェース	選択	T1・T2	2	3	1	1				70100
	コース専門科目		パワーエレクトロニクス	選択	T1・T2	2	3	1	1				70100
	コース専門科目		エネルギー変換工学	選択	T1・T2	2	3			1	1		70100

コースコードは、T1：電子システムコース、T2：機械システムコース。
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 電子・機械工学系 授業科目配当表

RT

科目区分	科目群	分野	科目名	必選	コースコード	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	備考	教職コード
専門教育科目	コース専門科目	機械工学	機械工学概論	選択	T2	2	2			1	1		
	学系共通科目		機械要素Ⅰ	選択		2	2	1	1				70100
	コース専門科目		機械要素Ⅱ	選択	T1・T2	2	2			1	1		70100
	コース専門科目		機械力学	選択	T1・T2	2	2			1	1		
	コース専門科目		流体力学Ⅱ・演習	選択	T2	3	2			1.5	1.5		70100
	コース専門科目		材料強度学	選択	T2	2	2			1	1		70100
	学系共通科目		伝熱工学・演習	選択		3	2			1.5	1.5		
	コース専門科目		工業熱力学・演習	選択	T2	3	3	1.5	1.5				70100
	コース専門科目		形状創成学・演習	選択	T2	3	3	1.5	1.5				70100
	コース専門科目		構造・機能材料学	選択	T2	2	3	1	1				70100
	コース専門科目		材料変形学	選択	T2	2	3			1	1		70100
	コース専門科目		自動車工学	選択	T1・T2	2	4	1	1				70100
	学系共通科目	実験・実習	電子・機械工学製作実習	選択		2	1			2	2		70100
	コース専門科目		機械工学実験・実習Ⅰ	選択	T2	1	2	1	1				70100
	コース専門科目		機械工学実験・実習Ⅱ	選択	T2	1	2			1	1		70100
	コース専門科目		機械工学実験・実習Ⅲ	選択	T2	1	3	1	1				70100
	コース専門科目		機械工学実験・実習Ⅳ	選択	T2	1	3			1	1		70100
	コース専門科目		機械設計製図Ⅰ	選択	T2	1	2	1	1				70100
	コース専門科目		機械設計製図Ⅱ	選択	T2	1	2			1	1		70100
	コース専門科目		機械設計製図Ⅲ	選択	T2	1	3	1	1				70100
	コース専門科目		機械設計製図Ⅳ	選択	T2	1	3			1	1		70100
	コース専門科目		電子工学基礎実験Ⅰ	選択	T1	2	2	2	2				70100
	コース専門科目		電子工学基礎実験Ⅱ	選択	T1	2	2			2	2		70100
	コース専門科目		電子情報実験Ⅰ	選択	T1	2	3	2	2				60400
	コース専門科目		電子情報実験Ⅱ	選択	T1	2	3			2	2		60500
	コース専門科目	卒研等	電子システムゼミⅠ	選択	T1	2	2	1	1				
	コース専門科目		電子システムゼミⅡ	選択	T1	2	2			1	1		
	コース専門科目		電子システムゼミⅢ	選択	T1	2	3	1	1				
	コース専門科目		電子システムゼミⅣ	選択	T1	2	3			1	1		
	学系共通科目		特別講義	選択		2	3			1	1		
	コース専門科目		機械システムゼミⅠ	選択	T2	2	3			1	1		
	コース専門科目		機械システムゼミⅡ	選択	T2	2	4	1	1				
	コース専門科目		電子・機械工学特別卒業研究	選択	T1・T2	3	3			3	3	3年以上の在学での卒業対象者のみ適用	
	コース専門科目		電子・機械工学卒業研究Ⅰ	必修	T1・T2	③	4	3	3				
	コース専門科目		電子・機械工学卒業研究Ⅱ	必修	T1・T2	③	4			3	3		
	コース専門科目		職業指導	自由	T1・T2	4	4	1	1	1	1		70200
	コース専門科目	その他	電子・機械工学インターンシップA	選択	T1・T2	2	2	1	1				
	コース専門科目		電子・機械工学インターンシップB	選択	T1・T2	2	2			1	1		
	コース専門科目		電子・機械工学インターンシップC	選択	T1・T2	2	3	1	1				
	コース専門科目		電子・機械工学インターンシップD	選択	T1・T2	2	3			1	1		
	コース専門科目		電子・機械工学インターンシップE	選択	T1・T2	2	4	1	1				
	コース専門科目		電子・機械工学インターンシップF	選択	T1・T2	2	4			1	1		
	学系共通科目		工学の倫理	選択		2	3			1	1		
	コース専門科目		情報と職業入門	選択	T1・T2	1	全	1					60600
	コース専門科目		情報と職業	選択	T1・T2	2	全			1	1		60600

※ 単位数が○で囲まれている科目は必修科目。

コースコードは、T1：電子システムコース、T2：機械システムコース。
教職コードは、「教職課程」参照。

建築・都市環境学系　進級条件表　RG

（2013年度カリキュラム）

〔1年次から2年次への進級条件〕
　1年次に配当されている授業科目のうち30単位以上を修得のこと。
〔3年次から4年次への進級条件〕

<table>
<tr><th></th><th>区分</th><th colspan="2">進級条件</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共通教育科目</td><td>人間形成科目群</td><td colspan="2">12単位以上修得のこと。
ただし「技術者倫理②」の単位は必ず修得のこと。</td></tr>
<tr><td>英語科目群</td><td colspan="2">6単位以上修得のこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門科目</td><td>学部共通科目群</td><td colspan="2">12単位以上修得のこと。
ただし「情報処理A②」「基礎物理学実験②」「基礎化学実験②」の6単位,かつ,下記の付表Aに示す学系指定科目から6単位以上を必ず修得のこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学系共通科目群
および
コース科目群</td><td>対象副コース</td><td>条件</td></tr>
<tr><td>建築・都市環境学系</td><td>(1)主コース専門科目から14単位以上修得のこと。
ただし「建築都市デザイン演習Ⅰ③」「建築都市デザイン演習ⅡA②」「建築都市デザイン演習ⅡB②」の単位を必ず修得のこと。
(2)副コース専門科目から6単位以上修得のこと。
(3)学系共通科目から28単位以上修得のこと。
ただし以下の条件(ⅰ)～(ⅲ)を満たすこと。
(ⅰ)「材料実験①」「土質実験①」「構造実験①」「水理実験①」から3単位以上を必ず修得のこと。
(ⅱ)下記の付表Bに示す学系必修科目から17単位以上を必ず修得のこと。
(ⅲ)下記の付表Cに示す学系専門科目から8単位以上を必ず修得のこと。</td></tr>
<tr><td>他学系</td><td>(1)主コース専門科目から14単位以上修得のこと。
ただし「建築都市デザイン演習Ⅰ③」「建築都市デザイン演習ⅡA②」「建築都市デザイン演習ⅡB②」の単位を必ず修得のこと。
(2)主コースの学系共通科目から22単位以上修得のこと。
ただし下記の付表Bに示す学系必修科目から17単位以上を必ず修得のこと。
(3)副コース専門科目から2単位以上修得のこと。
(4)副コースの学系共通科目から10単位以上を修得のこと。</td></tr>
<tr><td colspan="4">総修得単位数が104単位以上であること</td></tr>
</table>

付表A：学系指定科目（4科目8単位）
「基礎微積分学A②」「基礎微積分学B②」「基礎線形代数学A②」「基礎線形代数学B②」

付表B：学系必修科目（11科目26単位）
「建築・都市環境学へのアプローチ②」「建築・都市デザイン概論②」「数学演習②」「静力学②」「測量学・演習③」 「測量実習②」「応用力学A・演習③」「地盤工学A・演習③」「水理学A・演習③」「基礎統計学②」「プログラミング演習②」

付表C：学系専門科目（7科目14単位）
「応用力学B②」「地盤工学B②」「水理学B②」「計画数理②」「鉄筋コンクリート工学②」「建設材料学②」 「建設マネジメント②」

※　付表Bに示す学系必修科目は,卒業時までに全ての科目の単位を必ず修得のこと。

※　進級条件の単位数には,自由科目の単位は含まれません。

2013年度 カリキュラム 建築・都市環境学系 授業科目配当表

RG

科目区分	科目群	分野	建築・都市環境学系	必選	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	建築コース	都市環境コース	建築士プログラム科目区分	備考	教職コード
専門教育科目	学系共通科目	導入	建築・都市環境学へのアプローチ	必修	②	1	1	1							70100
	学系共通科目		建築・都市デザイン概論	必修	②	1			1	1			その他		70100
	学系共通科目	数理・情報	数学演習	必修	②	1			1	1					70100
	学系共通科目		基礎統計学	必修	②	1			1	1					70100
	学系共通科目		微分方程式	選択	2	2	1	1							70100
	学系共通科目		計画数理	選択	2	2	1	1							70100
	学系共通科目		プログラミング演習	必修	②	2			1	1					70100
	学系共通科目		数値計算法	選択	2	3	1	1							70100
	学系共通科目	構造	静力学	必修	②	1			1	1			構造力学		70100
	学系共通科目		応用力学Ａ・演習	必修	③	2	2	2					構造力学		70100
	学系共通科目		応用力学Ｂ	選択	2	2			1	1			構造力学		70100
	学系共通科目		鉄筋コンクリート工学	選択	2	3	1	1					建築一般構造		70100
	学系共通科目		鋼構造学	選択	2	3	1	1					建築一般構造		70100
	学系共通科目		構造実験	選択	1	3	1	1					構造力学		70100
	学系共通科目	地盤	地盤工学Ａ・演習	必修	③	2	2	2					構造力学		70100
	学系共通科目		地盤工学Ｂ	選択	2	2			1	1			構造力学		70100
	学系共通科目		土質実験	選択	1	2			1	1			構造力学		70100
	学系共通科目	水理	流れの科学	選択	2	2	1	1							70100
	学系共通科目		水理学Ａ・演習	必修	③	2	2	2							70100
	学系共通科目		水理学Ｂ	選択	2	2			1	1					70100
	学系共通科目		水文学	選択	2	3	1	1							70100
	学系共通科目		水理実験	選択	1	3			1	1					70100
	学系共通科目	材料	建設材料学	選択	2	2	1	1					建築材料		70100
	学系共通科目		材料実験	選択	1	2	1	1					建築材料		70100
	学系共通科目	施工	建設施工法	選択	2	3	1	1					建築生産		70100
	コース専門科目		道路工学	選択	2	3	1	1				G2			70100
	学系共通科目	測量	測量学・演習	必修	③	2	2	2					その他		70100
	学系共通科目		測量実習	必修	②	2	2	2					その他		70100
	コース専門科目		リモートセンシング	選択	2	3	1	1				G2			70100
	コース専門科目		空間情報工学	選択	2	3			1	1		G2			70100
	コース専門科目	設計製図	建築都市デザイン演習Ⅰ	選択	3	1			3	3	G1	G2	建築設計製図		70100
	コース専門科目		建築都市デザイン演習ⅡＡ	選択	2	2	2	2			G1	G2	建築設計製図		70100
	コース専門科目		建築都市デザイン演習ⅡＢ	選択	2	2			2	2	G1	G2	建築設計製図		70100
	コース専門科目		建築都市デザイン演習ⅢＡ	選択	2	3	2	2			G1	G2	建築設計製図		70100
	コース専門科目		建築都市デザイン演習ⅢＢ	選択	2	3			2	2	G1	G2	建築設計製図		70100
	コース専門科目	環境	水圏の環境	選択	2	2			1	1		G2			70100
	コース専門科目		気圏・地圏の環境	選択	2	2			1	1		G2			70100
	学系共通科目		衛生工学	選択	2	3	1	1							70100
	コース専門科目		環境アセスメント	選択	2	3			1	1		G2			70100
	コース専門科目		生物圏の環境	選択	2	3			1	1		G2			70100
	コース専門科目	都市	景観デザイン	選択	2	3	1	1				G2	建築計画		70100
	コース専門科目		防災工学	選択	2	3	1	1				G2	その他		70100
	コース専門科目		都市計画	選択	2	3	1	1				G2	建築計画		70100
	コース専門科目		交通計画	選択	2	3	1	1				G2			70100
	学系共通科目		建設マネジメント	選択	2	3			1	1			建築生産		70100
	コース専門科目		河川・海岸計画	選択	2	3			1	1		G2			70100
	コース専門科目		都市プロジェクトの評価	選択	2	3			1	1		G2	その他		70100

コースコードは、G1:建築コース・G2:都市環境コース
教職コードは、「教職課程」参照。

2013年度 カリキュラム 建築・都市環境学系 授業科目配当表

RG

科目区分	科目群	分野	建築・都市環境学系	必選	単位数	学年	前期 前前期	前期 前後期	後期 後前期	後期 後後期	建築コース	都市環境コース	建築士プログラム科目区分	備考	教職コード
専門教育科目	コース専門科目	建築	建築法規	選択	1	3			1		G1		建築法規		70100
	コース専門科目		ランドスケープデザイン	選択	2	2	1	1			G1		その他		70100
	コース専門科目		住居論	選択	2	2			1	1	G1		建築計画		70100
	コース専門科目		建築計画学	選択	2	2			1	1	G1		建築計画		70100
	コース専門科目		建築史	選択	2	2			1	1	G1		建築計画		70100
	コース専門科目		建築設備	選択	2	3			1	1	G1		建築設備		70100
	コース専門科目		建築デザイン論	選択	2	3	1	1			G1		建築計画		70100
	コース専門科目		建築とアートワーク論	選択	2	3	1	1			G1		その他		70100
	コース専門科目		建築環境工学	選択	2	3	1	1			G1		建築環境工学		70100
	コース専門科目		耐震設計法	選択	2	3			1	1	G1		構造力学		70100
	コース専門科目		建築構法	選択	2	3			1	1	G1		建築一般構造		70100
	コース専門科目		建築構造学	選択	2	3			1	1	G1		構造力学		70100
	コース専門科目	卒研等	建築・都市環境特別卒業研究	選択	3	3			3	3				3年以上の在学での卒業対象者のみ適用	
	コース専門科目		建築・都市環境卒業研究Ⅰ	必修	③	4	3	3							
	コース専門科目		建築・都市環境卒業研究Ⅱ	必修	③	4			3	3					
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップA	選択	2	2	1	1							
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップB	選択	2	2			1	1					
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップC	選択	2	3	1	1							
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップD	選択	2	3			1	1					
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップE	選択	2	4	1	1							
	コース専門科目		建築・都市環境インターンシップF	選択	2	4			1	1					
	コース専門科目		職業指導	自由	4	4	1	1	1	1					70200
	コース専門科目		情報と職業入門	選択	1	全	1								60600
	コース専門科目		情報と職業	選択	2	全			1	1					60600

※ 単位数が○で囲まれている科目は必修科目。

コースコードは、G1:建築コース・G2:都市環境コース
教職コードは、「教職課程」参照。